



LIVE STREAMING MIXER
AG 08

ユーザーガイド

JA

目次

はじめに	5
本ガイドについて	5
マニュアルの構成	7
本製品の特長	8
付属品	10
AG08 Controllerのインストール	11
各部の名称と機能	12
背面	12
前面	17
使う前の準備	27
コンピューターとの接続と設定 (Windows)	27
コンピューターとの接続と設定 (Mac)	30
iPad/iPhoneとの接続	33
Android端末との接続	35
ライブ配信で使う (17LIVE、Twitch、YouTube ライブ)	37
コンピューターと使う	37
iPad/iPhoneと使う	45
Android端末と使う	51
ライブ配信中の操作	55
楽器や音楽再生プレーヤーをつなぐ	56
ポッドキャストで使う	57
WaveLab Castを使う	57

音楽制作で使う	58
コンピューターでCubase AIを使う	58
iPad/iPhoneでCubasis LEを使う	59
専用アプリを使う	60
AG08 Controllerを使う	60
GATE機能を使う	65
GATEについて	65
COMP機能を使う	66
COMPについて	66
ボイスチェンジャーを使う	67
声のフォルマントやピッチを調整する	67
プリセットを使う	69
プリセットを呼び出す	69
プリセットに保存する	70
STEREO PAIR を使う	71
STEREO PAIR について	71
DUCKER機能を使う	73
DUCKERについて	73
MAXIMIZER機能を使う	74
MAXIMIZERについて	74

配信音声にディレイをつける	75
STREAMING OUT DELAYについて	75
モニターする音声のバランスを調整する	76
MONITOR MIXについて	76
サウンドパッドを使う	77
サウンドパッドを再生する	77
パッドごとの詳細設定を行う	78
サウンドパッドに録音する	79
オーディオファイルをサウンドパッドに割り当てる	81
アップデートする	83
本体ファームウェアをアップデートする	83
困ったときは	87
電源のトラブル	87
音声、その他のトラブル	88
工場出荷時の設定に戻す（初期化）	90
資料	91
一般仕様	91
入出力仕様	93
寸法図	96
ブロックダイアグラム	97
レベルダイアグラム	98

はじめに

本ガイドについて

本ガイドの記載内容に関するお知らせ

本ガイドでは、本製品をお使いになる方のために、接続方法や操作方法を説明しています。また、注意事項などを次のように分類しています。

- ・  **警告**

「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

- ・  **注意**

「傷害を負う可能性が想定される」内容です。

- ・ **ご注意**

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、また環境保護のため、お守りいただく内容です。

- ・ **お知らせ**

使用時の注意点や機能の制約、知っておくと便利な補足情報です。

- ・ 本ガイドに掲載されているイラストや画面は、すべて説明のためのものです。
- ・ 本ガイドに記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。
- ・ ソフトウェアは改良のため予告なしにバージョンアップすることがあります。
- ・ ソフトウェアおよび本ガイドの一部または全部を無断で複製、改変することはできません。
- ・ ソフトウェアまたは本ガイドを使用した結果と影響については、一切責任を負いかねますのでご了承ください。

著作権保護について

- ・ 本製品を、著作権をはじめとする国や地域の法律が定める第三者の権利を侵害する用途で使用しないでください。
- ・ あなたが本製品を使用して第三者の権利を侵害しても、弊社は一切責任を負いません。
- ・ 本製品に同梱されている「コンテンツ」*1の著作権は、ヤマハ、Steinberg、もしくはその著作権者に帰属します。私的使用のための複製など著作権法上認められている場合を除いて、権利者に無断で「複製または転用」*2することは禁じられています。ご使用

はじめに > 本ガイドについて

時には、著作権の専門家にご相談されるなどのご配慮をお願いします。なお、製品本来の使用を通して、上記コンテンツを使用した音楽制作や演奏を行い、それらを録音して配布する場合、配布方法が有償、無償を問わず著作権者の許諾は必要ありません。

- *1 「コンテンツ」には、コンピュータープログラム、サウンドデータ、伴奏スタイルデータ、MIDIデータ、WAVEデータ、音声記録データ、楽譜や楽譜データなどを含みます。
- *2 「複製または転用」には、本製品に内蔵または付属されたコンテンツそのものを取り出すこと、もしくは酷似した形態で記録/録音して配布することを含みます。

商標について

本説明に使用する商標は、次のとおりです。

- Steinberg、Cubase、Cubasis、WaveLab Castは、Steinbergの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、iPad、iPhone、iPadOS、App Store、Lightningは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- 日本ではiPhoneは、アイホン株式会社のライセンスに基づき使用されている商標です。
- Android、YouTubeは、Google LLCの商標です。

その他、本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

マニュアルの構成

本製品に関連するマニュアルは、次のとおりです。

紙マニュアル

製品に同梱されているマニュアルです。

- スタートガイド
基本的な接続方法と設定方法、各部の名称を説明しています。
- セーフティーガイド
安全上のご注意について説明しています。

電子マニュアル

- ユーザーガイド（本ガイド）
各部の名称と機能や、各機器を接続して音が出るまでのセットアップ方法を説明しています。また、シーン別に使いかたを説明しています。

お知らせ

各マニュアルはヤマハウェブサイトからダウンロードできます。ヤマハウェブサイトには常に最新のマニュアルデータが掲載されていますので、必要に応じてご活用ください。

<https://download.yamaha.com/>

本製品の特長

本製品は、コンピューター、iPad、スマートフォン経由でライブ配信などをするためのライブストリーミングミキサーです。配信を演出するための様々なエフェクト・機能が搭載されています。

■ ライブ配信を演出するボイスチェンジャーの搭載

チャンネル1に入力された声に対しボイスチェンジャーなどの豊富なエフェクトをかけることができます。ボイスチェンジャーは専用アプリ「AG08 Controller」で音質を細かく調節できます。

■ ライブ配信を盛り上げるサウンドパッド

本体の6つのパッドボタンにより効果音を簡単に再生できます。各パッドのサウンドは専用アプリ「AG08 Controller」で変更できます。

■ 3系統のUSBオーディオ入出力と物理フェーダーアサインによる音量操作

本製品への入力音やサウンドパッド再生音に加え、USB接続されたコンピューター上の複数アプリケーションの再生音を個別に本製品のチャンネル3/4、5/6、7/8のフェーダーに割り当てて、配信用ミックスを調整できます。また、本製品の3系統のUSB出力はコンピューター上の複数アプリケーションに個別に出力できます。これを組み合わせて、例えばゲストとのボイスチャット音声を含めたライブ配信においてチャット用と配信用それぞれに最適なミックスを用意できます。

■ チャンネル1のサウンド設定を瞬時に切り替えできるプリセットボタン

チャンネル1のオーディオエフェクト設定を本体の4つのプリセットボタンで瞬時に切り替えできます。

各プリセットは専用アプリ「AG08 Controller」で細かく設定できます。

■ 音質を調節できる豊富なエフェクトの搭載

ボイスチェンジャー(CH1)/アンプシミュレーター(CH2)、ゲート/コンプレッサー/イコライザー、リバーブ/ディレイは本製品でオン/オフできます。

各エフェクトは専用アプリ「AG08 Controller」で細かく設定できます。

■ 音声編集ソフトウェア「WaveLab Cast」を付属

WaveLab Castのライセンスが付属しています。ポッドキャストや、ビデオコンテンツの音声編集に使えます。

はじめに > 本製品の特長

■ DAWソフトウェア「Cubase AI」を付属

Cubase AIのライセンスが付属しています。録音、編集、ミックスなど音楽制作の基本作業ができます。

■ 専用電源アダプターによる安定した動作

付属の専用電源アダプターにより安定した動作に必要な電力を供給します。

■ 専用アプリ「AG08 Controller」を使った詳細設定

「AG08 Controller」を使って、AG08内蔵のDSPエフェクト、チャンネル1の各プリセット、サウンドパッドのサンプルなどを自由に設定できます。

付属品

本製品の付属品は、次のとおりです。付属品がすべて揃っていることをご確認ください。

- 電源アダプター PA-150B x 1
- USBケーブル (USB C to USB C) 1.5 m x 1
- セーフティーガイド x 1
- スタートガイド x 1
- WAVELAB CAST DOWNLOAD INFORMATION x 1
- CUBASE AI DOWNLOAD INFORMATION x 1

はじめに > AG08 Controllerのインストール

AG08 Controllerのインストール

AG08 Controllerは、下記ウェブサイトまたはApp Storeからダウンロードしてお使いください。

Windows/Mac

<https://www.yamaha.com/2/ag08/>

iPad

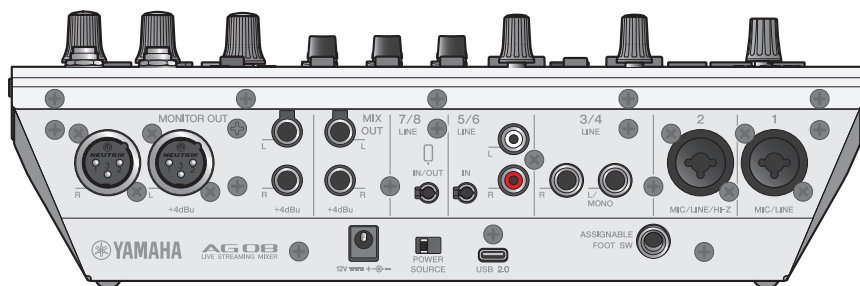
App StoreからAG08 Controllerを検索し、インストールしてください。AG08 ControllerはiPhoneには対応していません。

お知らせ

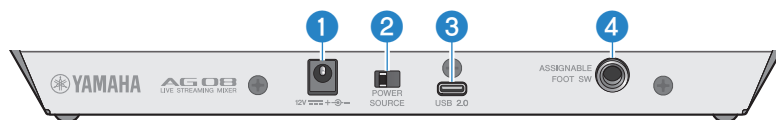
Windows、Macにはコンピューターに認識させるドライバー「Yamaha Steinberg USB Driver」のインストールも同時に必要です。

各部の名称と機能

背面



リアパネル下部



① [12V] DC 端子

付属の電源アダプターを接続します。

② [POWER SOURCE] 切替スイッチ

本体に電源供給する端子を選びます。[USB 2.0]端子から電源供給するときは[USB 2.0]端子側へ、[12V]DC端子から電源供給するときは[12V]DC端子側へスイッチを切り替えます。

③ [USB 2.0]端子 (Type C)

コンピューターやiPad/iPhoneを接続します。コンピューターを接続した場合は、電源がコンピューターから本体に供給されます。iPad/iPhoneを接続した場合は、[12V]DC端子に付属のアダプターを接続します。

お知らせ

コンピューターは専用のドライバーが必要です。下記のウェブサイトからダウンロード、インストールしてください。

- <https://www.yamaha.com/2/ag08/>


ご注意

- USB 2.0端子には、コンピューター/iPad/iPhone以外の機器を接続しないでください。
- バスパワーでの動作には、5V 1.5Aの電力供給が必要です。十分な電力を安定して供給できない場合は、別途[12V]DC端子から電力を供給してください。

USB端子ご使用時の注意

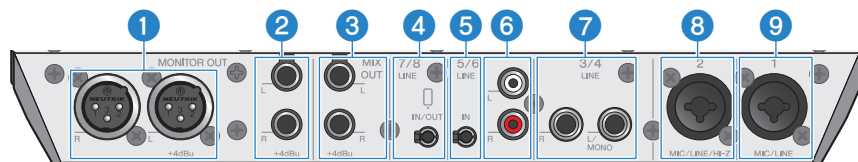
- USB端子で機器と接続するときは、データの損失を防ぐために以下のことを行ってください。
- USB ケーブルの抜き差しをする前に、以下のことを行ってください。
 - ・すべてのアプリケーションを終了させてください。
 - ・本体からデータが送信されていないか確認してください。
- ケーブルを抜いてから再び差すときは6秒以上の間隔をあけてください。ケーブルを素早く抜き差しすると誤動作などの原因になることがあります。

4 [ASSIGNABLE FOOT SW]端子

別売のフットスイッチ（ヤマハFC5 など）を接続します。フットスイッチにINPUT MUTE、TAP TEMPO、VOICE EFFECT、OUTPUT DIMMERの機能を設定できます。機能の割り当てはAG08 Controllerを使って行います。AG08 Controllerのメニュー[]ボタンを押し、設定→フットスイッチを選択し設定してください。



リアパネル上部



① [MONITOR OUT] 端子 (XLR)

パワードモニタースピーカーなどを接続します。XLRに対応しています。

② [MONITOR OUT] 端子 (フォーン)

パワードモニタースピーカーなどを接続します。フォーンプラグ (バランス/アンバランス) に対応しています。

③ [MIX OUT] 端子 (フォーン)

ミックスされた信号をステレオ出力するフォーンタイプの電子バランス型出力端子です。

④ [CH 7/8(□)LINE IN/OUT]スマートフォン入出力端子 (4極3.5 mm ステレオミニプラグ対応)

多用途に使える入出力端子です。4極ステレオミニプラグ (CTIA規格) に対応しています。Android端末などのスマートフォンやタブレットを接続し、アプリケーションを使って効果音のポン出しやBGMを再生できます。出力音量は接続した機器側で調節します。本製品からの音声は接続した機器へ送ることができます。

⑤ [CH 5/6 LINE IN] 端子 (3極3.5 mm ステレオミニプラグ対応)

電子楽器やオーディオ機器などのラインレベルの機器を接続します。ステレオミニプラグに対応しています。

⑥ [CH 5/6 LINE IN] 端子 (RCA ピンタイプ)

電子楽器やオーディオ機器などのラインレベルの機器を接続します。RCAピンプラグに対応しています。3極3.5 mmステレオミニプラグとRCAピンプラグは、3極3.5 mmステレオミニプラグが優先され同時使用はできません。

⑦ [CH 3/4 LINE] 端子 (フォーンタイプ)

電子楽器やオーディオ機器などのラインレベルの機器を接続します。フォーンプラグに対応しています。

⑧ [CH 2 MIC/LINE/Hi-Z] 端子

マイクや電子楽器などを接続します。XLR、フォーンの両プラグに対応しています。または、エレキギターやエレキベースなど出力インピーダンスの高い機器を接続します。

9 [CH1 MIC/LINE] 端子

マイクや電子楽器などを接続します。XLR、フォーンの両プラグに対応しています。

プラグの種類



XLRタイプ (バランス)



フォーンタイプ (バランス)



フォーンタイプ (アンバランス)

アウトプットへの出力信号の割り当てについて

お知らせ

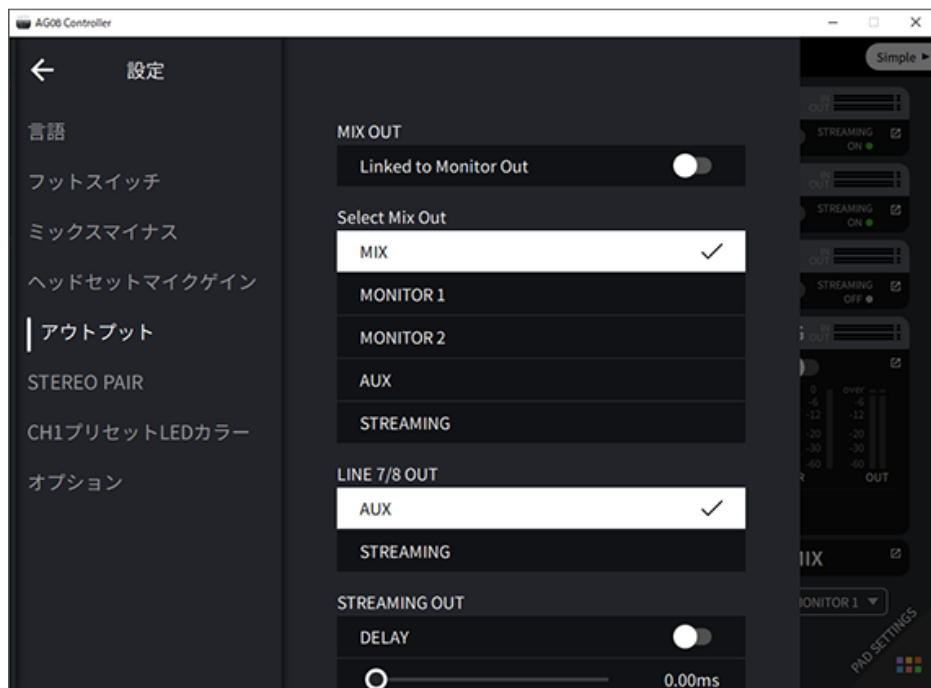
[MONITOR OUT]端子、[MIX OUT]端子、[CH7/8 LINE IN/OUT]端子へ出力する信号はAG08 Controllerを使って変更することができます。

・ [MONITOR OUT]端子の出力

AG08 ControllerのDetailモード画面の右下のMONITOR OUT設定で選択します。



- [MIX OUT]端子、[CH7/8 LINE IN/OUT]端子の出力
AG08 Controllerのメニュー[☰]ボタンを押し、設定→アウトプットを選択し設定してください。



MIX、MONITOR1、MONITOR2、AUX、STREAMINGの各信号に関しては、ブロックダイアグラムを参照してください。

前面

エフェクトセクション

入力セクション

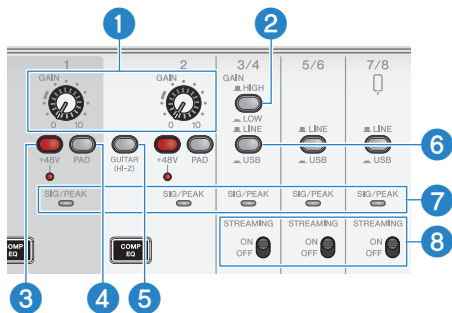
出力セクション



フェーダーセクション

サウンドパッドセクション


トップパネル入力セクション



① [GAIN] ノブ

チャンネルの基本となる音量を決めます。強く歌ったときや強く弾いたときに[SIG/PEAK] LEDが赤く一瞬点灯する程度にノブを調節します。


② [GAIN HIGH/LOW]切替スイッチ

チャンネル3/4の基本となる音量を決めます。[SIG/PEAK]LEDが赤く点灯し続ける場合や音が歪む場合などは、LOW () にしてください。

お知らせ

チャンネルフェーダーを最小にしてから[GAIN HIGH/LOW]切替スイッチを切り替えてください。スイッチ切り替え時にノイズが出る場合があります。

③ ファンタム[+48V] スイッチ/[+48V] LED

スイッチをオン () にすると[+48V]LEDが点灯し、チャンネル1とチャンネル2のマイク/ライン入力端子に接続されたXLRプラグにDC+48Vのファンタム電源を供給します。

コンデンサーマイクを使うときは、このスイッチをオンにします。

お知らせ



- ・ファンタム電源が不要な場合、スイッチをオフにしてください。
- ・本体や外部機器の故障やノイズを防ぐために、チャンネル1とチャンネル2にファンタム電源非対応の機器を接続するときは、スイッチをオフにしてください。
- ・本体や外部機器の故障やノイズを防ぐために、スイッチをオンにしたまま、チャンネル1とチャンネル2でケーブルの抜き差しをしないでください。
- ・本体や外部機器の故障やノイズを防ぐために、ファンタム電源は、チャンネル1とチャンネル2のチャンネルフェーダーを最小にした状態でオン/オフしてください。

④ [PAD] スイッチ

入力信号のレベルを減衰させるためのスイッチです。


入力した音が歪んでいる場合や、大きすぎると感じた場合は、オンにしてください。

⑤ [GUITAR (HI-Z)] スイッチ

チャンネル2の入力インピーダンスを切り替えます (オン  /オフ )。エレキギターやエレキベースなど、出力インピーダンスの高い楽器をチャンネル2に直接接続するときはオンにします。このスイッチをオンにするときは、楽器と本体をアンバランスのフォーンケーブルで接続してください。バランスのケーブルで接続した場合、正常に動作しません。



警告

- ・スイッチを切り替えるときは、[MONITOR] ノブ、[MONITOR PHONES] () ノブなどの出力コントロールは、すべて最小にしてください。大音量が出て、聴力障害または外部機器の故障になることがあります。

6 [LINE/USB] 切替スイッチ

チャンネル3/4、5/6、7/8の入力ソースをアナログ入力端子から入力するか、USB端子からの入力にするか切り替えるスイッチです。USBに切り替えたときの詳細は「コンピューターとの接続と設定 (Windows) 」(27ページ)の「コンピューターの設定」、 「コンピューターとの接続と設定 (Mac) 」(30ページ)の「コンピューターの設定」をご参照ください。



警告

- スイッチを切り替えるときは、音量を調節してから切り替えてください。接続する機器によっては、大音量が出て、聴覚障害または外部機器の故障になることがあります。

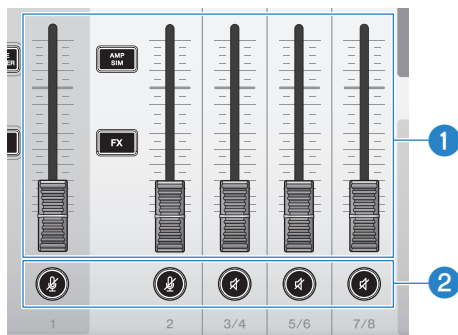
7 [SIG/PEAK] LED

入力信号のレベルをインジケーターで確認できます。適正な音量でコンピューターに音を送るには、緑色で点灯、大きい音を入れたときに一瞬赤く点灯するくらいに、各チャンネルの音量を調節します。

8 [STREAMING ON/OFF] スイッチ

チャンネル3/4、5/6、7/8の入力を配信用のバス (STREAMINGバス) に出力するかどうかを切り替えるスイッチです。

フェーダーセクション



1 チャンネルフェーダー

チャンネル1～8からの入力音声の出力レベルを調整します。

お知らせ

STEREO PAIR (71ページ) でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、チャンネル1のフェーダー操作でチャンネル1とチャンネル2の出力レベルを調節します。チャンネル2のフェーダー操作は無効になります。

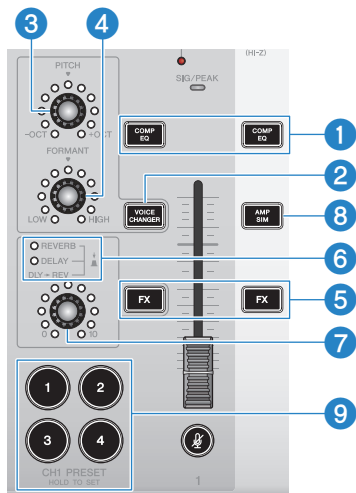
② (MUTE) ミュートボタン

ミュートのオン（赤色に点灯）/オフ（消灯）を切り替えます。配信中に席を外すときに音声を消音できます。

お知らせ

- ・ フットスイッチのINPUT MUTE機能でミュート中はLEDが点滅します。
- ・ STEREO PAIR（71ページ）でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、チャンネル1とチャンネル2のミュートボタンのオン/オフが連動します。

エフェクトセクション



① [COMP EQ] ボタン

チャンネル1、チャンネル2のゲート/コンプレッサー/イコライザーのオン/オフを切り替えます。初期設定は、配信に最適化してあります。低域の不要なノイズや入力レベルのバラツキを抑えます。

お知らせ

STEREO PAIR（71ページ）でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、チャンネル1とチャンネル2の[COMP EQ]ボタンのオン/オフが連動します。

② [VOICE CHANGER] ボタン

チャンネル1のボイスチェンジャー機能のオン/オフを切り替えます。

お知らせ

STEREO PAIR（71ページ）でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、ボイスチェンジャー機能がオフになり、[VOICE CHANGER]ボタンが消灯します。

3 [PITCH] ノブ

チャンネル1の声のピッチをノブを回して調節します。上下1オクターブの範囲で変化させることができます。



パラメーター値が0の時はセンターのLEDのみ点灯します。

お知らせ

STEREO PAIR (71ページ) でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、[PITCH]ノブでの調節が無効になり、LEDが消灯します。

4 [FORMANT] ノブ

チャンネル1の声のフォルマントを調節します。LOWにするほど男性的な声質に、HIGHにするほど女性的な声質に変化します。

お知らせ

STEREO PAIR (71ページ) でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、[FORMANT]ノブでの調節が無効になり、LEDが消灯します。

5 [FX] ボタン

チャンネル1からFX1、またはチャンネル2からFX2へのセンドのオン/オフを切り替えます。

お知らせ

- ・ フットスイッチのINPUT MUTE機能でセンドオフ中は点滅します。
- ・ STEREO PAIR (71ページ) でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、チャンネル1とチャンネル2の[FX]ボタンのオン/オフが連動します。

6 FX TYPE ([REVERB]/[DELAY]/[DLY→REV]) LED

チャンネル1のFXのエフェクトタイプをインジケータで確認できます。

REVERBを選択している場合はREVERBのインジケータ、DELAYを選択している場合はDELAYのインジケータ、DLY→REV (DELAY→REVERB) を選択している場合は、両方のインジケータが点灯します。

7 FX SENDノブ

チャンネル1のFX1のSENDレベルの操作をノブで行います。

また、チャンネル1のFX1のエフェクトタイプの切り替えの操作はノブを押して行います。

8 [AMP SIM] ボタン

チャンネル2のアンプシミュレーター機能のオン/オフを切り替えます。アンプシミュレーターはエレキギターをアンプで鳴らしたときの音を再現するものです。エレキギターを直接接続したときに、アンプ特有の「歪み」を再現します。

お知らせ

STEREO PAIR（71ページ）でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、アンプシミュレーター機能がオフになり、[AMP SIM]ボタンが消灯します。

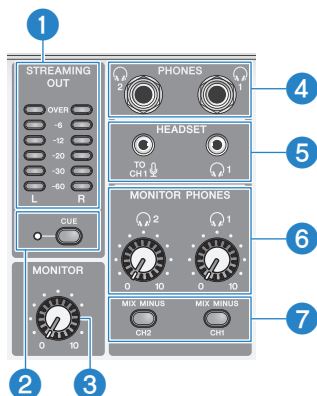
9 [CH1 PRESET] [1]~[4]ボタン

あらかじめチャンネル1のエフェクトの組み合わせをプリセットとして登録し、呼び出します。呼び出しているプリセットボタンが点灯します。プリセットは4つ保存できます。ボタンの点灯色をAG08 Controllerを使って6色から選択できます。点灯色の変更はAG08 Controllerから行います。登録方法は、「プリセットを使う」（69ページ）をご参照ください。

お知らせ

STEREO PAIR（71ページ）でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、プリセットの登録、呼び出し機能がオフになり、プリセットボタンが消灯します。

トップパネル出力セクション



1 [STREAMING OUT] LEDレベルメーター

配信用バス（STREAMING/バス）に使っている信号のレベルをメーター表示します。メーター中央の数値（dB）を超えると横のメーターが点灯します。信号が0dBを超えた場合はOVERが赤で点灯します。

2 [CUE]スイッチ

オンにすると、STREAMING OUTの信号がMONITOR PHONES1、2の両方に出力され、スイッチ左のインジケーターが点灯します。配信用の信号をヘッドホンで確認するときにはオンにしてください。

3 [MONITOR] ノブ

[MONITOR OUT]端子に接続された機器に送る音量を調節します。

4 [PHONES 1(🔊)/PHONES 2(🔊)] 端子 (フォンタイプ)

ヘッドホンを接続します。ステレオフォンプラグに対応しています。ステレオミニプラグのヘッドホンやイヤホンを接続するときは、[HEADSET] ヘッドホン[🔊]出力端子を使うこともできます。

5 [HEADSET]マイク[🔊]入力端子

ヘッドセットのマイクを接続します。通常はピンク色のプラグです。ここから入力された音声はチャンネル1に入ります。

お知らせ

[HEADSET]マイク[🔊]入力端子にマイクプラグが接続されると、[CH1 MIC/LINE] 端子に接続された機器の音はカットされます。

お知らせ

[HEADSET]マイク[🔊]入力端子から入力された信号のゲイン設定は、トップパネルのチャンネル1の[GAIN]ノブではなく、AG08 Controllerで設定します。AG08 Controllerのメニュー[☰]ボタンを押し、設定→ヘッドセットマイクゲインを選択し設定してください。



[HEADSET]ヘッドホン[🎧]出力端子

ヘッドセットのヘッドホンを接続します。通常は薄緑色のプラグです。ヘッドホン[🎧]出力端子と同じ音が出力されます。

6 [MONITOR PHONES 1(🎧)/MONITOR PHONES 2(🎧)]ノブ



[PHONES 1(🎧)/PHONES 2(🎧)]端子や[HEADSET]ヘッドホン[🎧]出力端子に接続されたヘッドホンの音量を調節します。

7 [MIX MINUS CH1/ MIX MINUS CH2] スイッチ

オン (■) にすると、チャンネル1、チャンネル2に入力された音が、[PHONES 1(🎧)/PHONES 2(🎧)]端子から出力されなくなります（モニタリングOFF）。モニター時に自分の音声を入れたくないときに使用します。

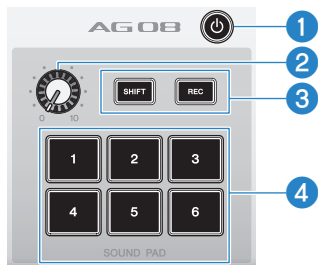
たとえば、配信や録音を行う際に、ヘッドホンから「自分の声」や「自分の演奏」を聞く必要がない時に、[MIX MINUS]スイッチをオンにします。

お知らせ

- AG08 Controllerを使って、モニター時に出力されないチャンネルを追加することができます。AG08 Controllerのメニュー[]ボタンを押し、設定→ミックスマイナスを選択し設定してください。
- STEREO PAIR（71ページ）でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、AG08 Controller内の設定に関わらず、オン（）にするとチャンネル1、チャンネル2どちらのチャンネルもモニター時に出力されなくなります。



トップパネルサウンドパッドセクション



① [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチ

電源のスタンバイ/オンを切り替えます。電源オンの状態からスタンバイにするときは、スイッチを2秒以上長押ししてください。スタンバイに完全に移行するには8秒ほどかかります。

ご注意

- スイッチのスタンバイ/オンを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。スイッチをスタンバイにしてから再度オンにする場合は、6秒以上の間隔を空けてください。

お知らせ

コンピューターからの電源供給が不十分な場合は、スイッチが点滅します。

② サウンドパッドレベルノブ

サウンドパッドからの出力レベルを調節します。

③ [SHIFT]/ [REC] ボタン

[SHIFT]/[REC]ボタンと[SOUND PAD]ボタンの組み合わせによりサウンドパッドの録音の操作を行います。詳細は、「サウンドパッドに録音する」(79ページ)をご参照ください。

④ [SOUND PAD] [1]~[6]ボタン

あらかじめ登録している効果音などのオーディオファイルを再生/録音します。サウンドパッドのデータは本体で録音したり、AG08 Controllerを使って、オーディオファイルを読み込むことができます。ボタンの点灯色をAG08 Controllerを使って6色から選択できます。点灯色の変更はAG08 Controllerから行います。登録方法は、「サウンドパッドを使う」(77ページ)をご参照ください。

使う前の準備

コンピューターとの接続と設定 (Windows)

はじめに、本製品をコンピューターに認識させるドライバー「Yamaha Steinberg USB Driver」を次のヤマハウェブサイトからダウンロードしてインストールします。

<https://www.yamaha.com/2/ag08/>

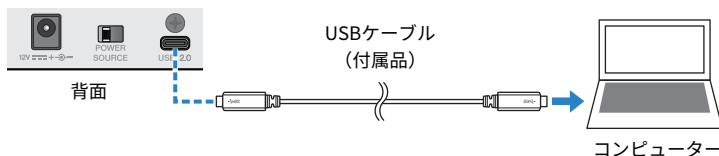
お知らせ

- ・ インストール手順については、ダウンロードした圧縮ファイルの中にあるインストールガイドをご参照ください。
- ・ 対応OSについては、上記のヤマハウェブサイトをご参照ください。

- 1** コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外します。
- 2** 本製品や接続している機器の音量（ボリューム）が最小になっていることを確認します。
- 3** 背面の[12V]DC端子に、付属の電源アダプターを接続し、[POWER SOURCE]切替スイッチを[12V]DC側（左側）にスライドします。



- 4** ドライバーをインストールしたあとに、付属のUSBケーブルを使って、本製品とコンピューターをつなぎます。
USBハブは使わずに直接つなぎます。



お知らせ

USB Cコネクタを装備していないコンピューターの場合は、市販のUSB A to USB Cケーブルで接続します。

5 [⏻] (スタンバイ/ オン) スイッチをオンにします。

6 本製品のトップパネルのLEDによる点灯アニメーションが終了した後、[⏻] (スタンバイ/ オン) スイッチのLEDが点灯したことを確認します。

ドライバーのインストールの前に接続した場合は、そのままドライバーのインストールを行ってください。

コンピューターの設定

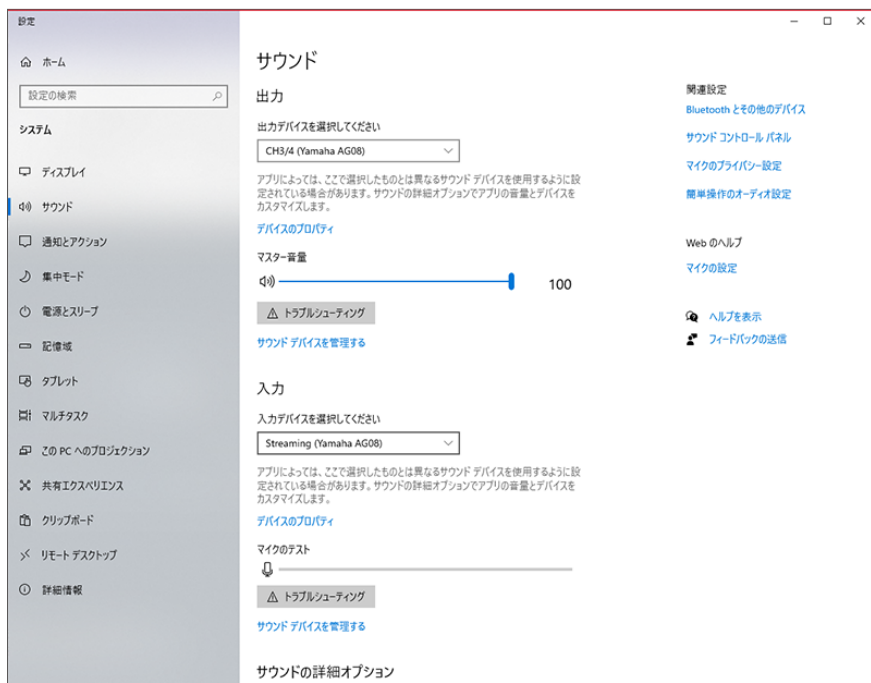
コンピューターの出力/入力の設定をAG08へ変更します。

1 「タスクバー」から「検索」を開きます。

開き方の手順はコンピューターの設定によって異なる場合があります。

2 「検索」画面上で「サウンド」と入力し、表示された「サウンドの設定」を選択します。

3 「サウンド」画面上で、出力に[CH3/4 (Yamaha AG08)]を選択し、本製品のチャンネル3/4の[LINe/USB]切替スイッチでUSBを選択します。



お知らせ

- 手順3で、出力に[CH5/6 (Yamaha AG08)]を選択すると、本製品のチャンネル 5/6のUSB入力にコンピューターの出力が立ち上がります。本製品のチャンネル5/6の[LINe/USB]切替スイッチでUSBを選択してください。
- 手順3で、出力に[CH7/8 (Yamaha AG08)]を選択すると、本製品のチャンネル 7/8のUSB入力にコンピューターの出力が立ち上がります。本製品のチャンネル7/8の[LINe/USB]切替スイッチでUSBを選択してください。
- AG08 ControllerアプリのSOUND PADのオーディオファイルの取り込みや調整中に確認する音声も、ここでの設定どおりに出力されます。

4 「サウンド」画面上で、入力に[Streaming (Yamaha AG08)]を選択します。

本製品のSTREAMING OUT (配信用のミックス) の出力がコンピューターに入力されません。

お知らせ

- 手順4で、入力に[Voice (Yamaha AG08)]を選択すると、本製品のチャンネル1、チャンネル 2のみのミックスがコンピューターに入力されます。
- 手順4で、入力に[AUX (Yamaha AG08)]を選択すると、本製品のAUX OUT (詳細はブロック図参照) がコンピューターに入力されます。

お知らせ

本製品は電源アダプターを接続せずに、5V 1.5A以上の電流を供給するUSB Type C端子を装備したコンピューターと付属のUSB C to USB Cケーブルを1本で接続することで動作できます。

- 1) コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外します。
- 2) 本製品や接続している機器の音量 (ボリューム) が最小になっていることを確認します。
- 3) ドライバーをインストールしたあとに、付属のUSBケーブルを使って、本製品とコンピューターをつなぎ、背面の[POWER SOURCE]切替スイッチを[USB 2.0]端子側 (右側) にスライドします。

USBハブは使わずに直接つなぎます。

- 4) [⏻] (スタンバイ/ オン) スイッチをオンにします。
- 5) 本製品のトップパネルのLEDによる点灯アニメーションが終了した後、[⏻] (スタンバイ/ オン) スイッチのLEDが点灯したことを確認します。

ドライバーのインストールの前に接続した場合は、そのままドライバーのインストールを行ってください。

コンピューターからの電源供給が不十分な場合は本製品の[⏻] (スタンバイ/ オン) スイッチのLEDが点滅し、正常に起動しません。その場合は、付属の電源アダプターを使用してください。

コンピューターとの接続と設定 (Mac)

はじめに、本製品をコンピューターに認識させるドライバー「Yamaha Steinberg USB Driver」を次のヤマハウェブサイトからダウンロードしてインストールします。

<https://www.yamaha.com/2/ag08/>

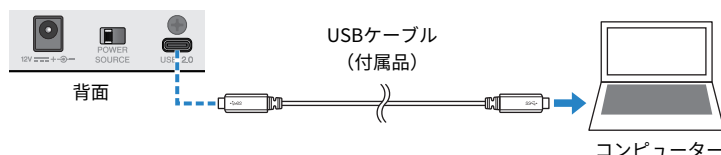
お知らせ

- ・インストール手順については、ダウンロードした圧縮ファイルの中にあるインストールガイドをご参照ください。
- ・対応OSについては、上記のヤマハウェブサイトをご参照ください。

- 1 コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外します。
- 2 本製品や接続している機器の音量（ボリューム）が最小になっていることを確認します。
- 3 背面の[12V]DC端子に、付属の電源アダプターを接続し、[POWER SOURCE]切替スイッチを[12V]DC側（左側）にスライドします。



- 4 付属のUSBケーブルを使って、本製品とコンピューターをつなぎます。
USBハブは使わずに直接つなぎます。



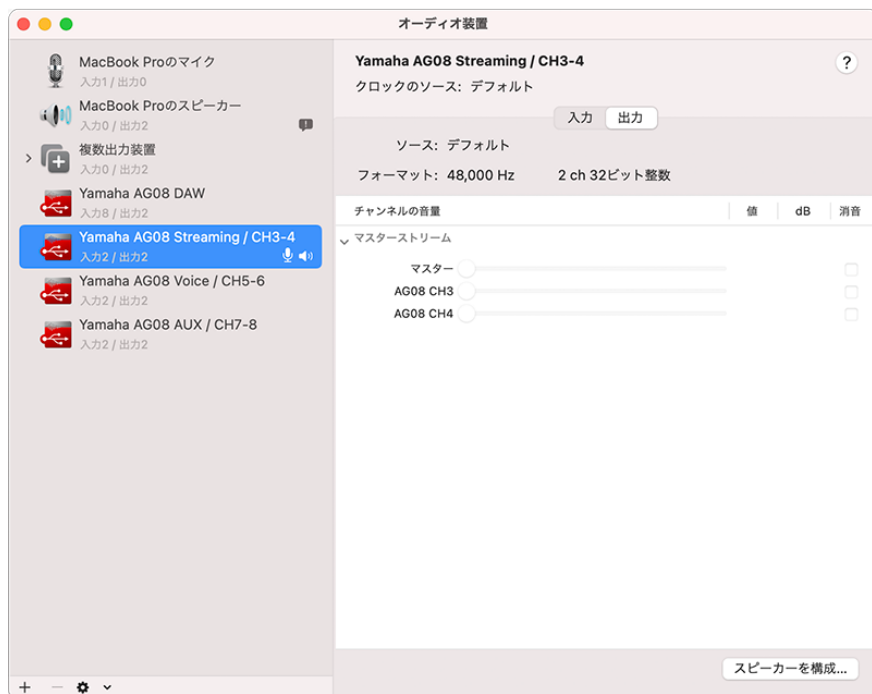
お知らせ

USB Cコネクタを装備していないMacの場合は、市販のUSB A to USB Cケーブルで接続します。

- 5 本製品のトップパネルのLEDによる点灯アニメーションが終了した後、[⏻]（スタンバイ/オン）スイッチのLEDが点灯したことを確認します。

コンピューターの設定

- 1 「Finder」 → 「移動」 → 「アプリケーション」 → 「ユーティリティ」 → 「Audio MIDI設定」を開きます。
- 2 オーディオ装置の画面左側のリストから[Yamaha AG08 Streaming / CH3-4]を選びます。
オーディオ装置画面が表示されていない場合は、メニューの「ウィンドウ」 → 「オーディオ装置を表示」を選ぶと表示されます。



- 3 画面左下の[▽]をクリックして「このサウンド出力装置を使用」を選びます。
- 4 同様に「このサウンド入力装置を使用」を選びます。
手順3と手順4を完了すると、リストの[Yamaha AG08 Streaming / CH3-4]の右下にマイクとスピーカーのアイコンが表示されます。
- 5 本製品のSTREAMING OUT（配信用のミックス）の出力がコンピューターに入力され、チャンネル3/4のUSB入力にコンピューターの出力が立ち上がります。本製品のチャンネル3/4の[LINe/USB]切替スイッチでUSBを選択します。

お知らせ

- 手順2で[Yamaha AG08 Voice / CH5-6]を選択した場合、本製品のチャンネル1、チャンネル2のみのミックスがコンピューターに入力され、チャンネル5/6のUSB入力にコンピューターの出力が立ち上がります。本製品のチャンネル5/6の[LINe/USB]切替スイッチでUSBを選択してください。
- 手順2で[Yamaha AG08 AUX / CH7-8]を選択した場合、本製品のAUX OUT（詳細はブロック図参照）がコンピューターに入力され、チャンネル7/8のUSB入力にコンピューターの出力が立ち上がります。本製品のチャンネル7/8の[LINe/USB]切替スイッチでUSBを選択してください。
- AG08 ControllerアプリのSOUND PADのオーディオファイルの取り込みや調整中に確認する音声も、ここでの設定どおりに出力されます。

6 Audio MIDI設定を終了します。

お知らせ

本製品は電源アダプターを接続せずに、5V 1.5A以上の電流を供給するUSB Type C端子を装備したコンピューターと付属のUSB C to USB Cケーブルを1本で接続することで動作できます。

- 1) コンピューターから、マウスとキーボード以外のUSB機器をすべて外します。
- 2) 本製品や接続している機器の音量（ボリューム）が最小になっていることを確認します。
- 3) ドライバーをインストールしたあとに、付属のUSBケーブルを使って、本製品とコンピューターをつなぎ、背面の[POWER SOURCE]切替スイッチを[USB 2.0]端子側（右側）にスライドします。

USBハブは使わずに直接つなぎます。

- 4) [⏻]（スタンバイ/オン）スイッチをオンにします。
- 5) 本製品のトップパネルのLEDによる点灯アニメーションが終了した後、[⏻]（スタンバイ/オン）スイッチのLEDが点灯したことを確認します。

ドライバーのインストールの前に接続した場合は、そのままドライバーのインストールを行ってください。

コンピューターからの電源供給が不十分な場合は本製品の[⏻](スタンバイ/オン)スイッチのLEDが点滅し、正常に起動しません。その場合は、付属の電源アダプターを使用してください。

iPad/iPhoneとの接続

電源の準備からiPad/iPhoneとの接続までを説明します。

用意するもの

- Apple社製Lightning-USB3カメラアダプタおよび市販のUSB A to USB Cケーブル (Lightningコネクタ対応のiPad/iPhoneの場合)
- Apple社製USB-C Digital AV Multiportアダプタおよび付属のUSB C to USB Cケーブル (USB Cコネクタ対応のiPad/iPhoneの場合)

お知らせ

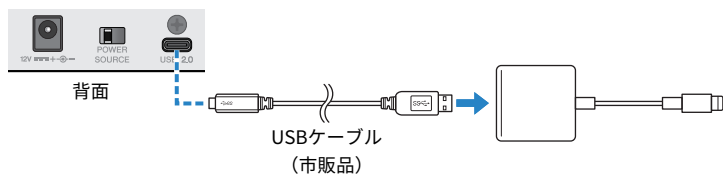
- 配信の際や、長時間お使いになる場合は、別途iPad/iPhone給電用の電源をご用意ください。
- 対応OSについては、次のヤマハウェブサイトをご参照ください。
・ <https://www.yamaha.com/2/ag08/>

- 1** 本製品や接続している機器の音量（ボリューム）が最小になっていることを確認します。
- 2** 背面の[12V]DC端子に、付属の電源アダプターを接続し、[POWER SOURCE]切替スイッチを[12V]DC側（左側）にスライドします。

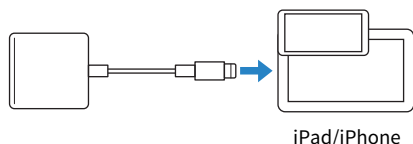


- 3** [⏻]（スタンバイ/オン）スイッチをオンにします。
- 4** 本製品のトップパネルのLEDによる点灯アニメーションが終了した後、[⏻]（スタンバイ/オン）スイッチのLEDが点灯したことを確認します。

5 市販のUSB A to USB Cケーブルを使って、本製品とApple社製Lightning-USB3カメラアダプタを接続します。



6 Apple社製LightningケーブルをiPad/iPhoneに接続します。



お知らせ

USB Cコネクタ対応のiPad/iPhoneの場合は、Apple社製USB-C Digital AV Multiportアダプタをお使いください。付属のUSB-Cケーブルなどを使って直接iPad/iPhoneと本製品を接続することもできますが、iPad/iPhone本体のバッテリー残量によっては使用可能時間が制限されます。

接続が完了すると、本製品が自動的にiPad/iPhoneで認識されます。

iPad/iPhoneの設定は必要ありません。

Android端末との接続

電源の準備からAndroid端末との接続までを説明します。

用意するもの

- 3.5 mm 4極ステレオミニケーブル

お知らせ

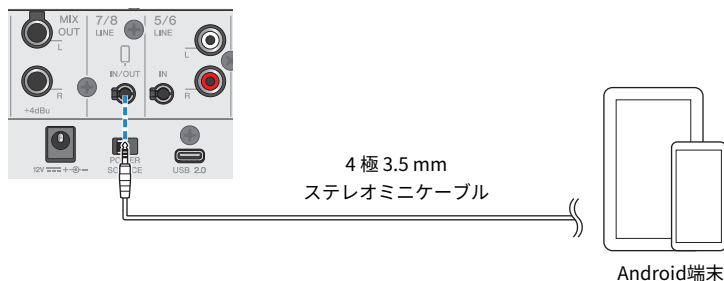
- USBケーブルを使ったオーディオ入出力はできません。
- Android端末に送られる音声はモノラルです。
- 配信の際や、長時間お使いになる場合は、別途Android端末給電用の電源をご用意ください。

- 1** 本製品や接続している機器の音量（ボリューム）が最小になっていることを確認します。
- 2** 背面の[12V]DC端子に、付属の電源アダプターを接続し、[POWER SOURCE]切替スイッチを[12V]DC側（左側）にスライドします。



- 3** [⏻]（スタンバイ/オン）スイッチをオンにします。
- 4** 本製品のトップパネルのLEDによる点灯アニメーションが終了した後、[⏻]（スタンバイ/オン）スイッチのLEDが点灯したことを確認します。

5 3.5 mm 4極ステレオミニケーブルで、本製品の[CH 7/8 (□) LINE IN/OUT]スマートフォン入力端子とAndroid端末のヘッドセット用端子を接続します。



お知らせ

- ステレオミニ端子非対応のAndroid端末との接続には、変換アダプタケーブルが必要です。
 - たとえばUSB C端子で音声の入出力をするAndroid端末の場合は、USB C-3.5 mm 4極イヤホン端子変換アダプタケーブルをご用意ください。
- 2極や3極ではなく、4極のステレオミニケーブルをお使いください。

2極	3極	4極
<p>絶縁線が1本</p>	<p>絶縁線が2本</p>	<p>絶縁線が3本</p>
×	×	○

接続が完了したら、音楽再生アプリや録音アプリなどで、音声の入出力ができることを確認してください。

ライブ配信で使う（17LIVE、Twitch、YouTube ライブ）

コンピューターと使う

本製品とWindows PCまたはMacを使って、自分の声や歌を17LIVE、Twitch、YouTubeライブなどでライブ配信するための設定や操作について説明します（17LIVE、Twitch、YouTubeライブは、それぞれ配信アプリの名称です）。

用意するもの

- 本製品
- WindowsまたはMacコンピューター（AG08 Controllerおよび配信アプリインストール済み）
- AG08 Controllerアプリは、次のウェブサイトからインストールしてください。
<https://www.yamaha.com/2/ag08/>
- ヘッドホンまたはイヤホン（PHONES 1: ステレオフィोनプラグまたは3.5 mmステレオミニプラグ）（PHONES 2: ステレオフィオンプラグ）
- 付属のUSB C to USB Cケーブル、または市販のUSB A to USB Cケーブル
- 付属の電源アダプター
- マイク

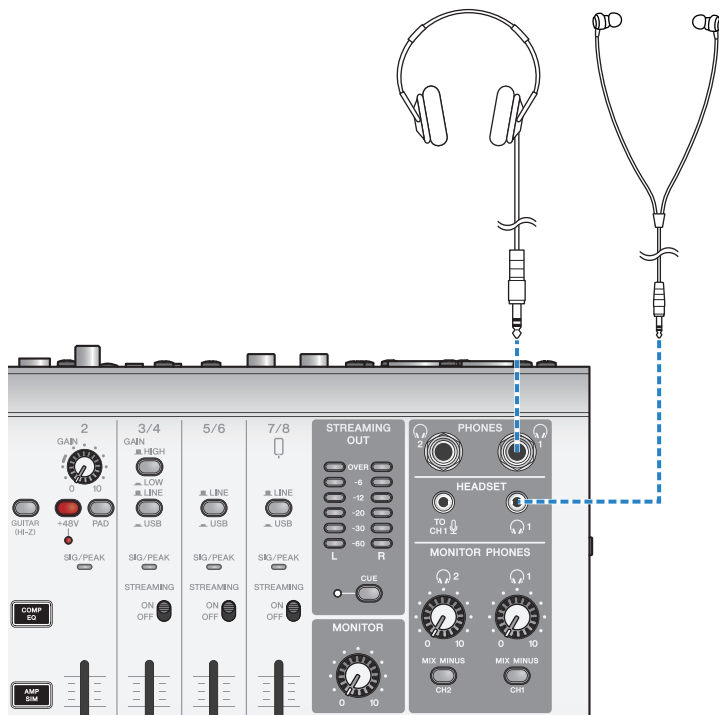
1 コンピューターと接続します。

「使う前の準備」→「コンピューターとの接続と設定（Windows） / （Mac）」を参照して接続します。

- 「コンピューターとの接続と設定（Windows）」（27ページ）
- 「コンピューターとの接続と設定（Mac）」（30ページ）

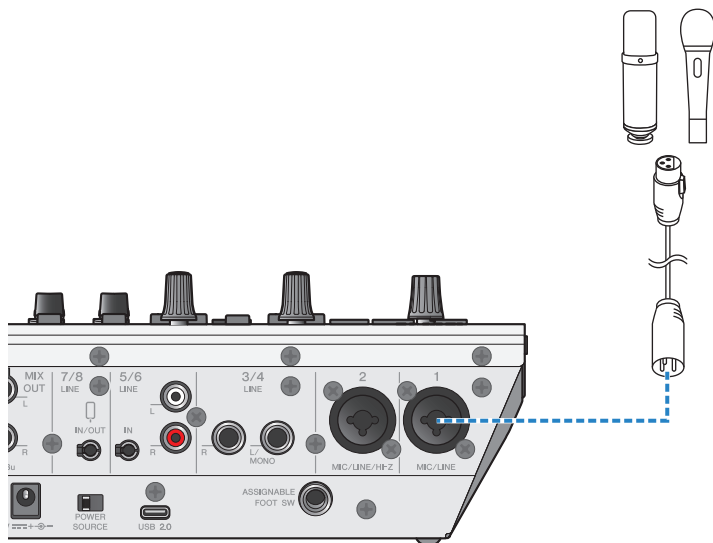
ライブ配信で使う（17LIVE、Twitch、YouTube ライブ） > コンピューターと使う

2 ヘッドホンまたはイヤホンを出力端子に接続します。



ライブ配信で使う（17LIVE、Twitch、YouTube ライブ） > コンピューターと使う

- 3** マイクをチャンネル1のマイク/ライン入力端子に接続します。
ヘッドセットのマイクは[HEADSET]マイク入力端子に接続します。



すべての接続が完了したら、本体の設定をします。

- 4** [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチをオンにします。

5 AG本体の設定をします。

フロントパネルの各スイッチを以下の設定にします。



- [PAD]スイッチ：オフ
- ファンタム[+48V] スイッチ:オン（コンデンサーマイクを使用する場合）
- チャンネル1[GAIN]ノブ、フェーダー：適宜（イラスト参照）
- [MIX MINUS]：オフ

6 サウンドチェック機能を使って、コンピューターとの接続設定や本体のレベル設定を行います。

- ・サウンドチェック機能について

コンピューターの場合、AG08 Controllerアプリの「サウンドチェック」機能のガイドンに従ってコンピューターとの接続設定や本体のレベル設定を行うことができます。AG08 Controllerのメニュー[☰]ボタンをタップし、「サウンドチェック」ボタンをタップして、サウンドチェック機能を起動してください。



ライブ配信で使う（17LIVE、Twitch、YouTube ライブ） > コンピューターと使う

「サウンドチェック」機能のガイダンスに従って、コンピューターとの接続設定や本体のレベル設定を行います。



コンピューターの出力/入力の設定が終わってない場合は、次のようなサウンド設定の画面が表示されます。

ライブ配信で使う（17LIVE、Twitch、YouTube ライブ） > コンピューターと使う

BGMの送り先のチャンネルやボイスチャットの音声の送り先のチャンネルを設定します。



お知らせ

- Windowsの場合は「コンピューターとの接続と設定（Windows）」（27ページ）をご参照ください。
- Macの場合は「コンピューターとの接続と設定（Mac）」（30ページ）をご参照ください。

7 マイクで話しながら[MONITOR PHONES] [🔊]ノブで音量を調節します。
[MONITOR PHONES] [🔊]ノブの操作は、配信される音量に影響しません。

8 配信を開始します。

フェーダーで、それぞれの音量を調節します。

配信アプリを起動して、視聴者（リスナー）にバランスを確認します。

お知らせ

音が出ない場合は、「音声、その他のトラブル」（88ページ）をご参照ください。

OBSを使った配信方法

ここでは配信ソフトウェアの例としてOBSを使った配信方法を説明します。OBSのダウンロード、およびインストールについては、OBSの公式ホームページをご参照ください。

ライブ配信で使う（17LIVE、Twitch、YouTube ライブ）> コンピューターと使う

- 1 OBSを起動し「ファイル」から「設定」画面を開きます。
- 2 左側のナビゲーションメニューから「音声」を選択します。
- 3 「グローバル音声デバイス」にある「デスクトップ音声」の設定を「既定」または「無効」にします。
- 4 同様に「グローバル音声デバイス」にある「マイク音声」の設定を [Streaming (Yamaha AG08)] にします。
- 5 左側のナビゲーションメニューから「配信」を選択します。
- 6 配信するサービスを選択し、必要に応じてサービスから提供されるストリームキーを入力します。
- 7 「設定」画面を閉じます。
- 8 配信を開始します。

お知らせ

Discordでチャットしながらゲーム配信する場合は、Discordの「音声設定」>入力デバイスで「AG08 Voice」、出力デバイスは「AG08 CH5/6」を設定してください。チャンネル5/6の[LINe/USB]切り替えスイッチは[USB]に設定してください。

スマートフォンでの会話をコンピューターの配信に流す

スマートフォンでの会話（電話でのゲスト参加など）をコンピューターからの配信に使用する場合、3.5 mm 4極ステレオミニケーブルで、本製品の[LINe 7/8 IN/OUT]スマートフォン入出力端子とスマートフォン（iPhoneやAndroid端末など）のヘッドセット用端子を接続します。



スマートフォン入出力端子への出力設定は初期設定ではAUXになっており、スマートフォンの通話相手には自身の音声が入ループバックしないようになっています。

お知らせ

ステレオミニ端子非対応のスマートフォンとの接続には、変換アダプタケーブルが必要です。例えばUSB C端子で音声の入出力を行うAndroid端末にはUSB C-3.5 mm 4極イヤホン端子変換アダプタケーブル、Lightning端子のiPhoneにはLightning - 3.5mmヘッドフォンジャックアダプタをご用意ください。

iPad/iPhoneと使う

本製品とiPad/iPhoneを使って、自分の声や歌を17LIVE、Twitch、YouTubeライブなどでライブ配信するための設定や操作について説明します（17LIVE、Twitch、YouTubeライブは、それぞれ配信アプリの名称です）。

用意するもの

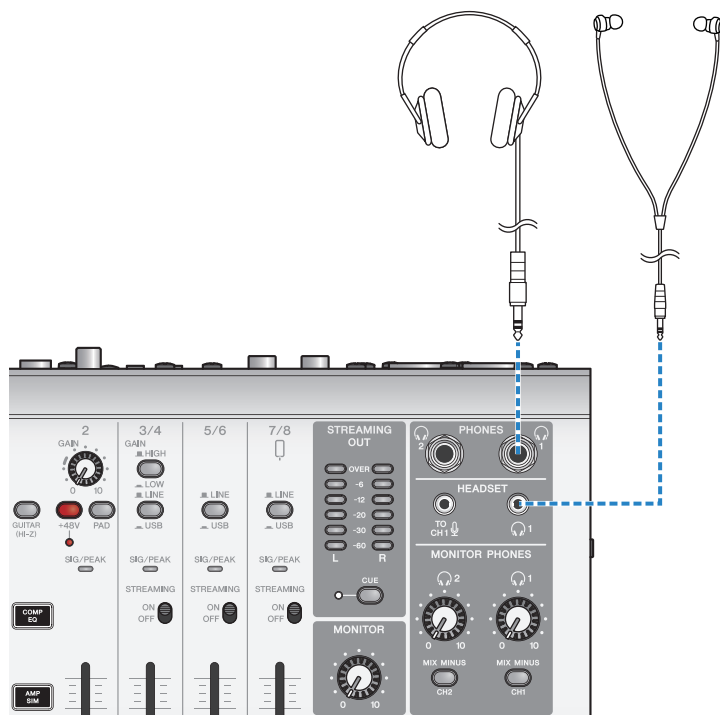
- 本製品
- iPad/iPhone
iPadの場合は、App Storeから「AG08 Controller」を検索し、インストールしてください。（AG08 ControllerはiPhoneには対応していません）
- ヘッドホンまたはイヤホン（PHONES 1: ステレオフィオンプラグまたは3.5 mmステレオミニプラグ）（PHONES 2: ステレオフィオンプラグ）
- Apple社製Lightning-USB3カメラアダプタ、市販のUSB A to USB Cケーブル（Lightningコネクタ対応のiPad/iPhoneの場合）
- 付属のUSB C to USB Cケーブル（USB Cコネクタ対応のiPad/iPhoneの場合）
- 付属の電源アダプター
- マイク

1 iPad/iPhoneと接続します。

使う前の準備→iPad/iPhoneとの接続を参照して接続します。

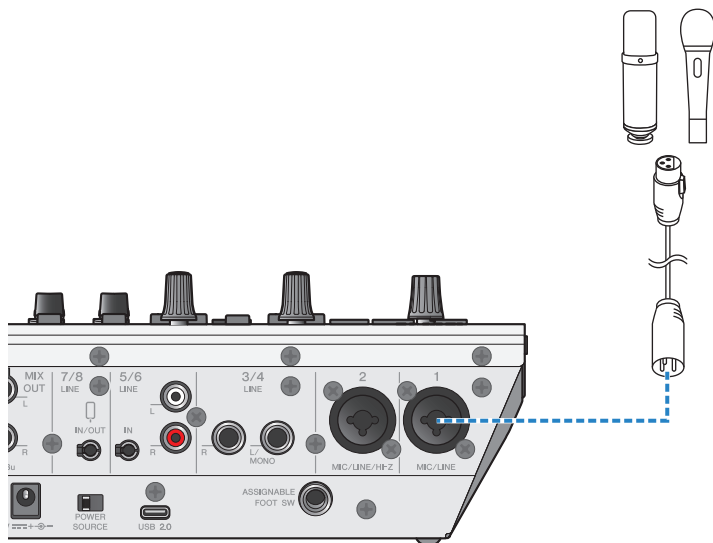
- 「iPad/iPhoneとの接続」（33ページ）

2 ヘッドホンまたはイヤホンを出力端子に接続します。



ライブ配信で使う（17LIVE、Twitch、YouTube ライブ） > iPad/iPhoneと使う

- 3** マイクをチャンネル1のマイク/ライン入力端子に接続します。
ヘッドセットのマイクは[HEADSET]マイク入力端子に接続します。



すべての接続が完了したら、本体の設定をします。

- 4** [⏻] (スタンバイ/オン) スイッチをオンにします。

5 AG本体の設定をします。

フロントパネルの各スイッチを以下の設定にします。

- [PAD]スイッチ：オフ
- ファンタム[+48V]スイッチ:オン（コンデンサーマイクを使用する場合）
- チャンネル1[GAIN]ノブ、フェーダー：適宜（イラスト参照）
- [MIX MINUS]：オフ



6 サウンドチェック機能を使って、iPadとの接続設定や本体のレベル設定を行います。

- ・サウンドチェック機能について

iPadの場合、AG08 Controllerアプリの「サウンドチェック」機能のガイダンスに従ってコンピューターとの接続設定や本体のレベル設定を行うことができます。

AG08 Controllerのメニュー[☰]ボタンをタップし、「サウンドチェック」ボタンをタップして、サウンドチェック機能を起動してください。



ライブ配信で使う（17LIVE、Twitch、YouTube ライブ） > iPad/iPhoneと使う

「サウンドチェック」機能のガイダンスに従って、iPadとの接続設定や本体のレベル設定を行います。



7 マイクで話しながら[MONITOR PHONES] [🔊]ノブで音量を調節します。

[MONITOR PHONES] [🔊]ノブの操作は、配信される音量に影響しません。

8 配信を開始します。

フェーダーで、それぞれの音量を調節します。

配信アプリを起動して、視聴者（リスナー）にバランスを確認します。

お知らせ

音が出ない場合は、「音声、その他のトラブル」（88ページ）をご参照ください。

Android端末と使う

本製品とAndroid端末を使って、自分の声や歌を17LIVE、Twitch、YouTubeライブなどでライブ配信するための設定や操作について説明します（17LIVE、Twitch、YouTubeライブは、それぞれ配信アプリの名称です）。これらの配信用のアプリをAndroid端末で使う場合は、USBケーブルで接続しても、本製品からの音がアプリに流れません。3.5 mm 4極ステレオミニケーブルを使って接続します。

用意するもの

- 本製品
- Android端末
- ヘッドホンまたはイヤホン（PHONES 1: ステレオフォンプラグまたは3.5 mmステレオミニプラグ）（PHONES 2: ステレオフォンプラグ）
- 3.5 mm 4極ステレオミニケーブル
- 付属の電源アダプター
- マイク

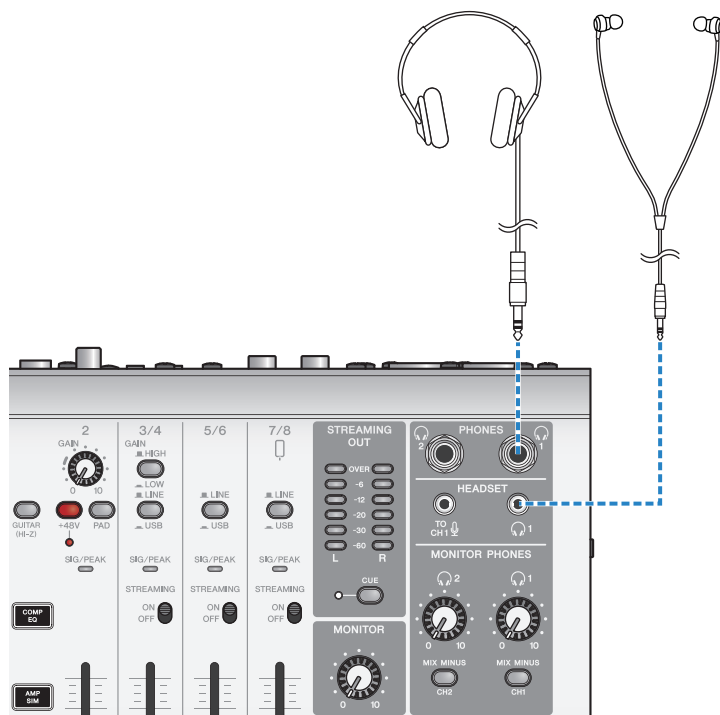
1 Android端末と接続します。

使う前の準備→Android端末との接続を参照して接続します。

- 「Android端末との接続」（35ページ）

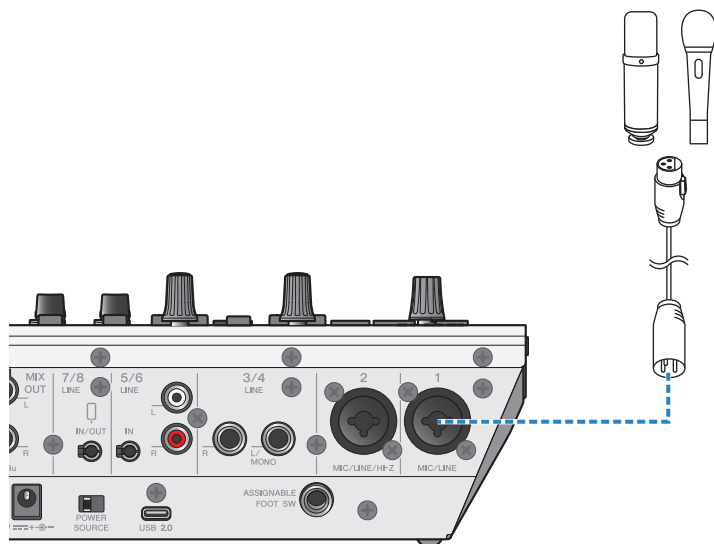
ライブ配信で使う（17LIVE、Twitch、YouTube ライブ） > Android端末と使う

2 ヘッドホンまたはイヤホンを出力端子に接続します。



ライブ配信で使う（17LIVE、Twitch、YouTube ライブ）> Android端末と使う

- 3** マイクをチャンネル1のマイク/ライン入力端子に接続します。
ヘッドセットのマイクは[HEADSET]マイク入力端子に接続します。



- 4** [⏻] (スタンバイ/ オン) スイッチをオンにします。

5 AG本体の設定をします。



フロントパネルの各スイッチを以下の設定にします。

- ・ [PAD]スイッチ：オフ
- ・ ファンタム[+48V] スイッチ:オン（コンデンサーマイクを使用する場合）
- ・ チャンネル1[GAIN]ノブ、フェーダー：適宜（イラスト参照）
- ・ [MIX MINUS]：オフ

6 マイクで話しながら[MONITOR PHONES] [🎧]ノブで音量を調節します。

[MONITOR PHONES] [🎧]ノブの操作は、配信される音量に影響しません。

7 配信を開始します。

フェーダーで、それぞれの音量を調節します。

配信アプリを起動して、視聴者（リスナー）にバランスを確認します。

お知らせ

音が出ない場合は、「音声、その他のトラブル」（88ページ）をご参照ください。

ライブ配信中の操作

ライブ配信中の操作について説明します。

■ マイクをミュートにする

ライブ配信中に離席する場合などは、[M] ボタンをオン（点灯）にしてマイクの音が配信に流れないようにします。


■ 声にリバーブ（残響）をかける

マイクの音にリバーブをかける場合は、[FX] ボタンをオン（点灯）にします。

楽器や音楽再生プレーヤーをつなぐ

楽器や音楽再生プレーヤーを接続して、BGMや効果音を入れる場合の設定について説明します。

■ 楽器をつなぐ

ギターはチャンネル2の[CH 2 MIC/LINE/HI-Z] 端子にアンバランスのフォーンケーブルで接続し、[GUITAR (HI-Z)]スイッチをオン（) にしてください。

電子ピアノやシンセサイザーなどの電子楽器は [CH 3/4 LINE] 端子に接続し、[LINE/USB] 切替スイッチをLINEに設定してください。

■ 音楽再生プレーヤーをつなぐ

音楽再生プレーヤーは[CH5/6 LINE]端子または[CH7/8 LINE IN/OUT]端子に接続し、[LINE/USB] 切替スイッチをLINEに設定してください。

お知らせ

接続には変換ケーブルやエフェクターなどが必要になる場合があります。お使いの楽器の接続方法を確認してください。

ポッドキャストで使う

WaveLab Castを使う

WaveLab Castは、ポッドキャストのオーディオ/ビデオコンテンツ制作に最適なWindowsおよびMac用のソフトウェアです。簡単な操作で録音、編集、配信ができます。

WaveLab Castセットアップ：

次のページをご参照の上、ダウンロードやライセンスのアクティベーションをお済ませください。

<https://japan.steinberg.net/getwavelabcast>

お知らせ

ダウンロードには、ダウンロードアクセスコード（Download access code）が必要です。付属のWAVELAB CAST DOWNLOAD INFORMATION（紙）に記載されています。

WaveLab Castのマニュアルは、次のURLからご検索ください。

<https://steinberg.help/ja>

音楽制作で使う

コンピューターでCubase AIを使う

Cubase AIと本製品を組み合わせ、音声の録音や編集などができます。Cubase AIはコンピューターで音声の録音や再生、編集ができる音楽制作用のDAWソフトウェアです。

Cubase AIのセットアップ：

次のページをご参照の上、ダウンロードやライセンスのアクティベーションをお済ませください。

<https://japan.steinberg.net/getcubaseai>

お知らせ

ダウンロードには、ダウンロードアクセスコード(Download access code)が必要です。付属のCUBASE AI DOWNLOAD INFORMATION（紙）に記載されています。

Cubase AIのマニュアルは、次のURLからご検索ください。

<https://steinberg.help/ja>

iPad/iPhoneでCubasis LEを使う

Cubasis LEと本製品を組み合わせ、音声の録音や編集ができます。Cubasis LEは、モバイルDAW、Cubasisのライト版です。Cubasisと同様に、iPad/iPhoneから音声の録音、再生、編集ができる音楽制作アプリです。

App Storeから「Cubasis LE」を検索し、ダウンロードしてお使いください。

Cubasis LEについて詳しくは、次のSteinbergウェブサイトをご参照ください。

<https://japan.steinberg.net/getcubasisle>

専用アプリを使う

AG08 Controllerを使う

本製品の細かな設定をしたいときはAG08 Controllerアプリを使います。AG08 Controllerは直感的で操作しやすいアプリケーションなので、ここでは概要を簡単に紹介します。

[Detail]モード：SOUND SETTING画面

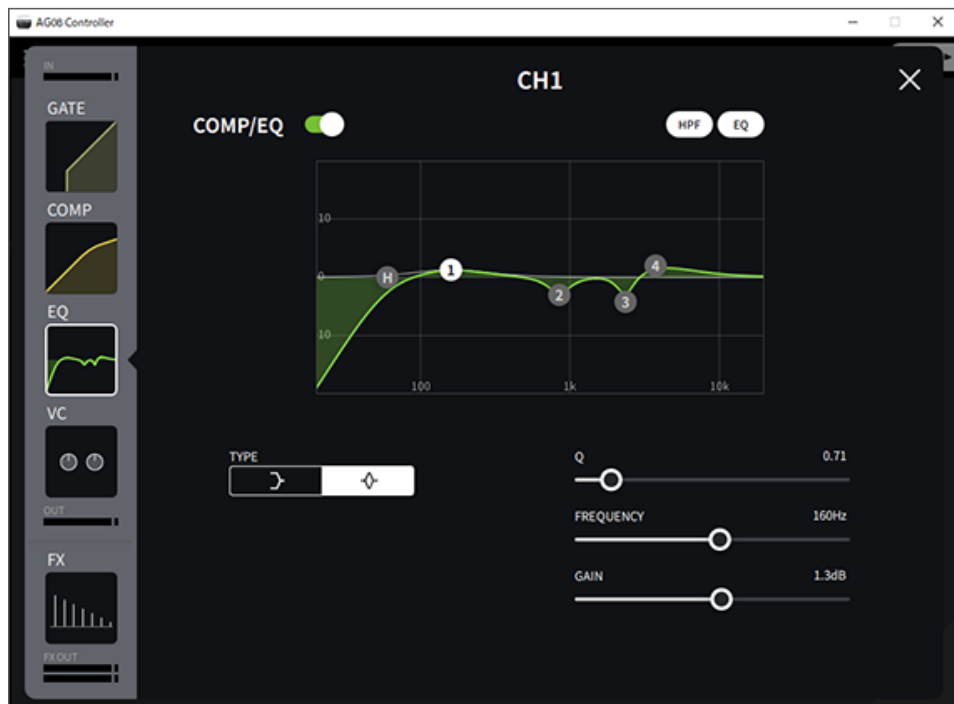
各チャンネルの信号処理の設定を行います。

各フィールドの[🔍]ボタンを押すと、詳細設定画面が開きます。



専用アプリを使う > AG08 Controllerを使う

下図はEQの詳細設定画面です。



各パラメーターは、下記のいずれかの操作で変更できます。

- ・ スライダーを動かす
- ・ グラフ内のハンドルを動かす
- ・ パラメーターテキストボックスに数値を入力する

お知らせ

- ・ 各パラメーターにスライダー、ハンドル、パラメーターテキストボックスの表示がある場合のみ上記操作が可能です。
- ・ パラメーターの数値表示をダブルクリックすると、パラメーターテキストボックスが表示されません。

専用アプリを使う > AG08 Controllerを使う

[Simple]モード

チャンネル1のエフェクト設定を声質やマイクの種類、ユースケースを選択するだけで簡単に設定します。



専用アプリを使う > AG08 Controllerを使う

PAD SETTINGS画面

サウンドパッド関連の設定を行います。



専用アプリを使う > AG08 Controllerを使う

その他メニュー

[Detail]モード：SOUND SETTING画面、[Simple]モード画面の左上の[☰]ボタンを押して、メニューを表示します。その他詳細設定やデータのバックアップなどを行う画面を表示します。




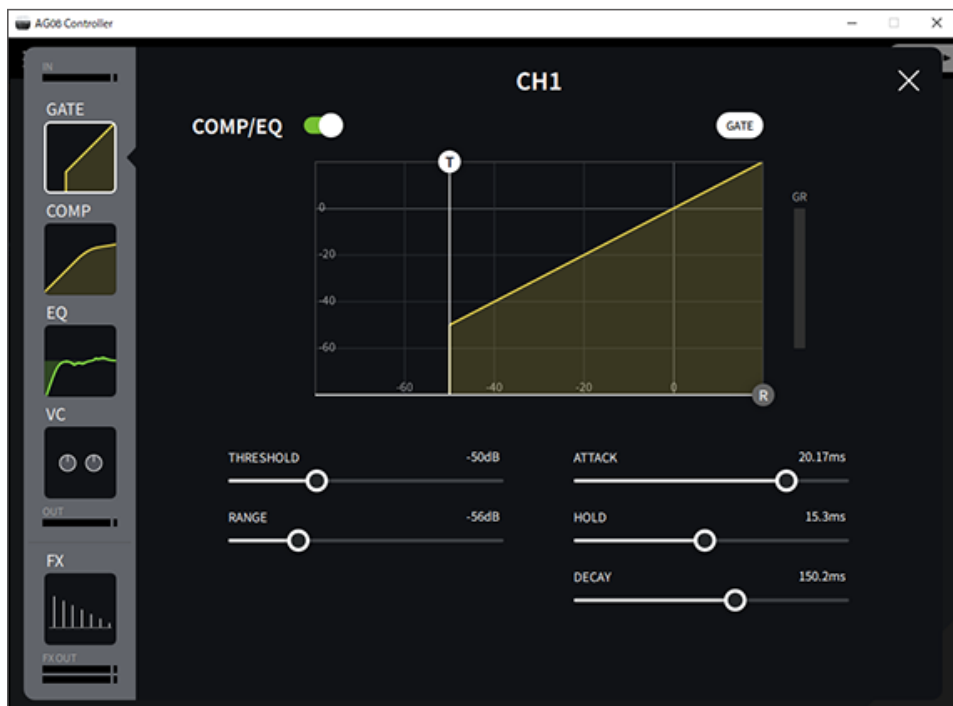
GATE機能を使う

GATEについて

マイクに入る環境ノイズを低減させる

AG08のチャンネル1とチャンネル2にはGATE機能を内蔵しています。マイクで話していない時は自動的に入力音の音量を小さくして環境ノイズを減衰させ、話し始めると自動で元の音量に戻すことができます。

GATEの設定はAG08 Controllerで行います。AG08 ControllerのDetailモード画面内のチャンネル1、チャンネル2のGATEフィールドの[]ボタンを押し、GATEの設定を行ってください。



お知らせ


STEREO PAIR (71ページ) でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、GATEの設定がチャンネル1とチャンネル2で共有されます。

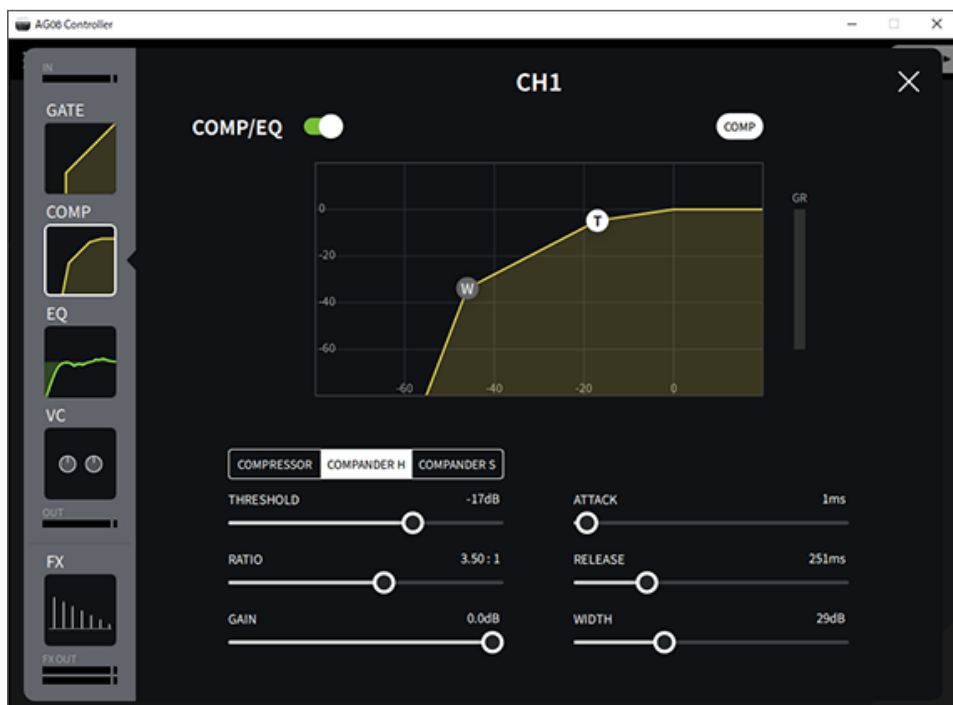
COMP機能を使う

COMPについて

マイクに入力される音量を整える

AG08のチャンネル1とチャンネル2にはCOMP機能を内蔵しています。COMPRESSORはしきい値を超えた分の信号レベルを圧縮することで、音量変化を抑えることができます。COMPANDER H、COMPANDER Sは音量の変化を抑えて音圧を稼ぎながら、環境ノイズも減衰させます。COMPANDER Hはノイズの減衰量が大きいタイプで、COMPANDER Sはノイズの減衰量が小さいタイプです。

COMPの設定はAG08 Controllerで行います。AG08 ControllerのDetailモード画面内のチャンネル1、チャンネル2のCOMPフィールドの[]ボタンを押し、COMPの設定を行ってください。



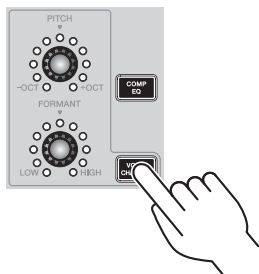
お知らせ

STEREO PAIR (71ページ) でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、COMPの設定がチャンネル1とチャンネル2で共有されます。

ボイスチェンジャーを使う

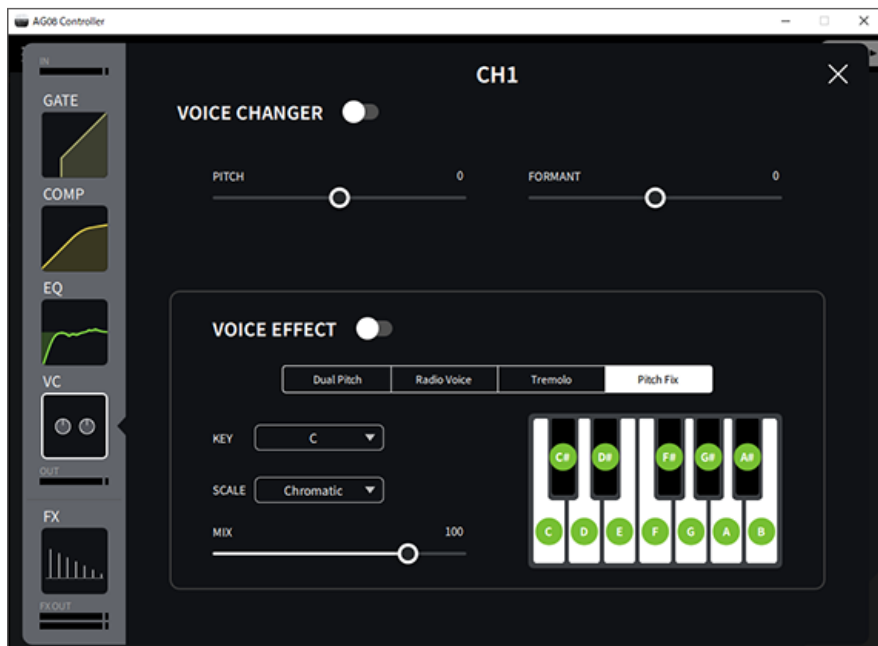
声のフォルマントやピッチを調整する

- 1 チャンネル1の[VOICE CHANGER] ボタンをオンにします。



- 2 [PITCH]ノブや[FORMANT]ノブを使って声のフォルマントやピッチを好みに調整します。

AG08 Controllerを使えば、あらかじめ用意されているプリセットを呼び出したり、Radio VoiceやPitch Fixなどの効果を追加したりすることもできます。



ボイスチェンジャーを使う > 声のフォルマントやピッチを調整する

お知らせ

STEREO PAIR（71ページ）でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、ボイスチェンジャーがオフになります。

プリセットを使う

プリセットを呼び出す

[CH1 PRESET] [1]～[4]ボタンに保存したエフェクトの設定（プリセット）を呼び出すことができます。

1 呼び出したいプリセットの[CH1 PRESET] [1]～[4]ボタンを押します。

選択したプリセットボタンが点灯し、エフェクトの設定（プリセット）が呼び出されます。ボタンをもう一度押すとボタンが消灯し、プリセットを選択する前の状態に戻ります。



お知らせ

- プリセットを呼び出したあとにエフェクトを調節すると、プリセットボタンが点滅します。
- MUTE、フェーダーレベル、PANの設定は保存されません。
- STEREO PAIR（71ページ）でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、プリセットの呼び出しができず、プリセットボタンが消灯します。

プリセットに保存する

エフェクトの設定をプリセットボタンに保存します。

- 1 操作子やAG08 Controllerでエフェクトを調節します。
- 2 保存したい[CH1 PRESET] [1]～[4]ボタンのいずれかを2秒以上押します。



お知らせ

- ボタンの点灯色はAG08 Controllerを使って6色から選択可能です。AG08 Controllerのメニュー[]ボタンを押し、設定→CH1プリセットLEDカラーを選択し設定してください。



- STEREO PAIR (71ページ) でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、プリセットの登録ができず、プリセットボタンが消灯します。

STEREO PAIR を使う

STEREO PAIR について

AG08のチャンネル1とチャンネル2にはSTEREO PAIR機能を内蔵しています。STEREO PAIRを使ってチャンネル1とチャンネル2をリンクすると、1つのステレオチャンネルとして使えます。ステレオマイクやバイノーラルマイクを使った、ASMR配信を行うときなどに便利な機能です。

STEREO PAIRの設定は、AG08 Controllerで行います。AG08 Controllerのメニュー[☰]ボタンを押し、設定→STEREO PAIRを選択します。STEREO PAIRの[🔊]ボタンを押すと、ポップアップ画面が表示されるので、[OK]を選択します。Detailモード画面で下記のSTEREO PAIR画面が表示されます。



お知らせ


- リンクによってチャンネル1とチャンネル2で共有される設定は、ゲート/コンプレッサー/イコライザー、リバーブ/ディレイ、ミュート、MONITOR MIXです。
- 本体の[GAIN]ノブ、ファンタム[+48V]スイッチ、[PAD]スイッチ、[GUITAR (HI-Z)]スイッチ(CH2)はリンクによって共有されません。
- リンクをオンにすると、ボイスチェンジャー(CH1)/アンプシミュレーター(CH2)はオフになり、プリセットの呼び出し/保存は使用できなくなります。
- チャンネル1、チャンネル2からの入力音声の出力レベルは、チャンネル1のフェーダーで操作します。
- STEREO PAIR使用中に、Detailモード画面からSimpleモード画面に切り替えると、STEREO PAIRは解除されます。

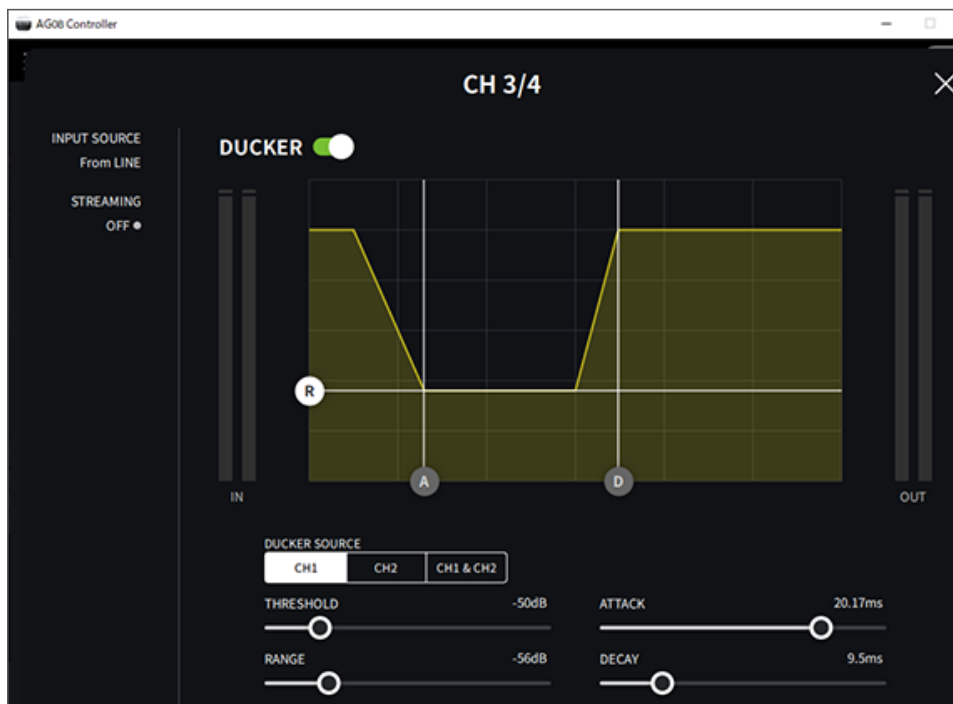
DUCKER機能を使う

DUCKERについて

マイクの入力に反応してチャンネル3/4～7/8のレベルを減衰させる

AG08のチャンネル3/4～7/8にはDUCKER機能を内蔵しています。チャンネル1またはチャンネル2に接続したマイクで話し始めると、チャンネル3/4～7/8に入力されているBGMなどの音量をフェーダーで操作することなく自動的に減衰させ、話し終わると自動で元の音量に戻すことができます。

DUCKERの設定はAG08 Controllerで行います。AG08 ControllerのDetailモード画面内のチャンネル3/4、5/6、7/8のフィールドの[]ボタンを押し、DUCKERの設定を行ってください。




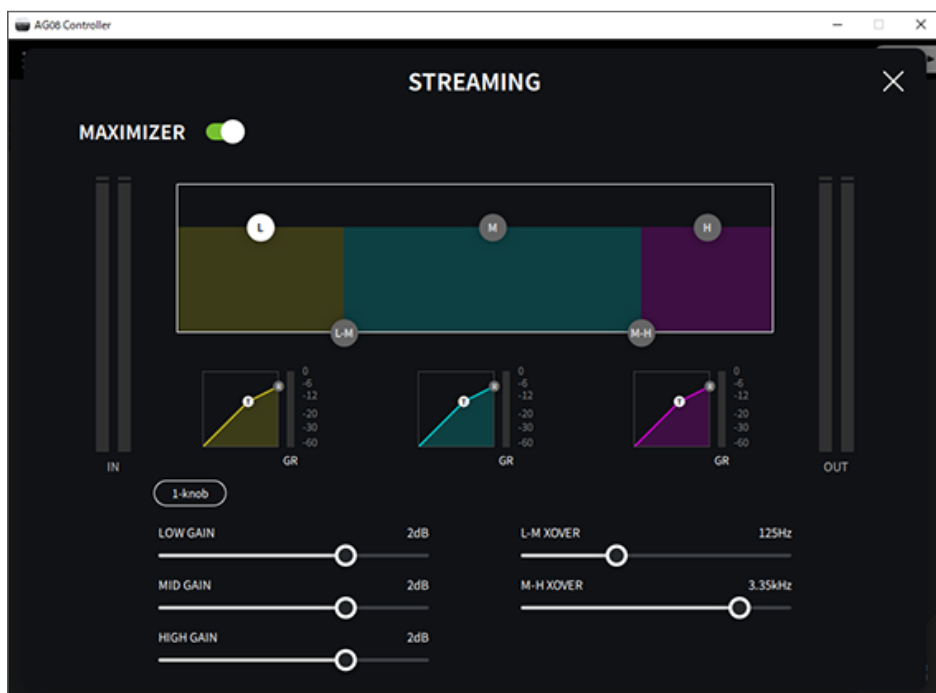
MAXIMIZER機能を使う

MAXIMIZERについて

配信の音量を整える

AG08のSTREAMING OUTにはMAXIMIZER機能（マルチバンドコンプ）を内蔵しています。LOW/MID/HIGHの帯域ごとにコンプレッサーの設定を行うことで、音量の変化を抑え、音圧を稼ぐことができます。

MAXIMIZERの設定はAG08 Controllerで行います。AG08 ControllerのDetailモード画面内のSTREAMINGフィールドの[]ボタンを押し、MAXIMIZERの設定を行ってください。



配信音声にディレイをつける

STREAMING OUT DELAYについて

AG08の配信用の出力（STREAMING OUT）にDELAY（遅延）を付加することができます。配信の映像とのタイミングを補正するときなどにご使用ください。


STREAMING OUT DELAYの設定はAG08 Controllerで行います。AG08 Controllerのメニュー[]ボタンを押し、設定→アウトプット→DELAYの順に選択し設定します。

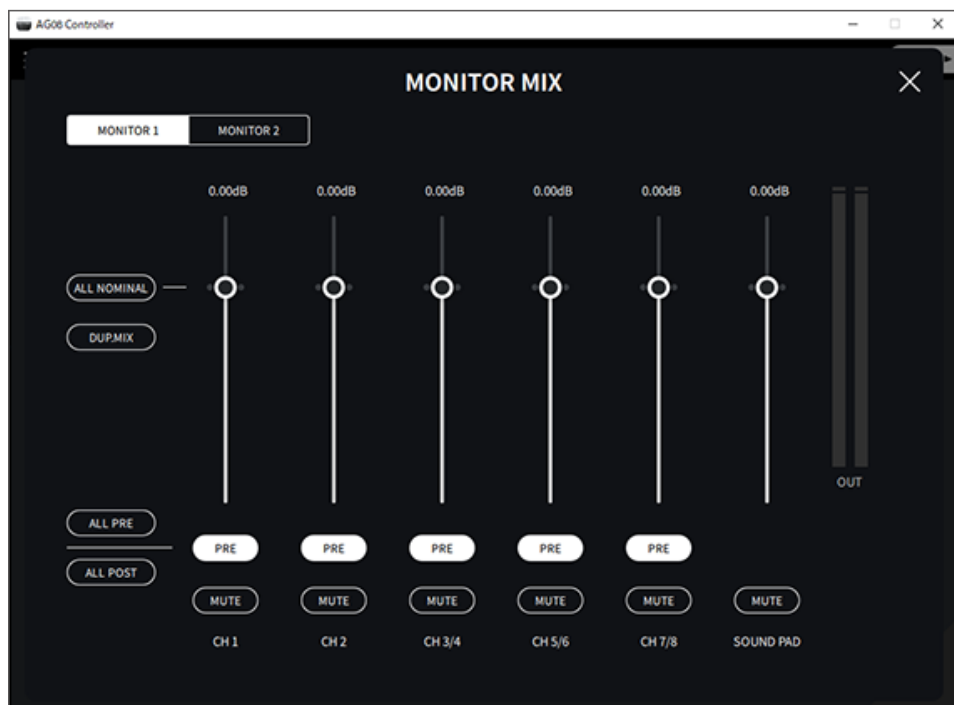


モニターする音声のバランスを調整する

MONITOR MIXについて

ヘッドホンなどで聞く音のバランスを変えることができます。モニター時に自分の声や演奏の音を小さくしたり、ゲームの音声を大きくしたりするときなどにご使用ください。

MONITOR MIXの設定はAG08 Controllerで行います。AG08 ControllerのDetailモード画面内のMONITOR MIXのフィールドの[]ボタンを押し、MONITOR MIXの設定を行ってください。



お知らせ

- MONITOR1とMONITOR2でそれぞれ別の音量バランスを設定できます。
- MONITOR MIXでの操作は、配信される音量に影響しません。
- STEREO PAIR（71ページ）でチャンネル1とチャンネル2をリンクしているときは、チャンネル1とチャンネル2の出力レベル、ミュートのオン/オフ、PRE/POSTの設定が連動します。
- MONITOR MIXの設定にかかわらず、[MIX MINUS CH1/MIX MINUS CH2] スイッチをオンにした時の効果は変わりません。

サウンドパッドを使う

サウンドパッドを再生する

サウンドパッドは、6つのボタンにオーディオファイルを割り当てて再生できます。各場面に応じたジングルや効果音にお使いください。AG08 Controllerを使ってパッドごとの、音量、再生方法を設定することもできます。

1 SOUND PAD [1]～[6]ボタンのいずれかを押します。

押したSOUND PADに割り当てられているオーディオファイルが再生されます。



再生モードがONE SHOTの場合は、パッドを押すたびに再生が先頭から始まり、1回再生し終わると停止します。

再生モードがHOLDの場合は、パッドを押している間だけ繰り返し再生します。

再生モードがLOOPの場合はパッドを押すとループ（繰り返し）再生が始まり、もう一度パッドを押すと再生が停止します。

2 サウンドパッドレベルノブを回して、再生レベルを調節します。



サウンドパッドを使う > パッドごとの詳細設定を行う

パッドごとの詳細設定を行う

AG08 ControllerのPAD SETTINGS画面を使って[1]～[6]各パッドの詳細設定を行うことができます。



画面の左上側で設定を行うパッドの選択を行います。画面の左下側で選択したパッドの「名前の変更（リネーム）」、「パッドの点灯色の設定」、「波形の表示」、「再生モード（Playback Mode）の設定」、「パッドの出力レベル設定」「FXセンドレベルの設定」を行います。

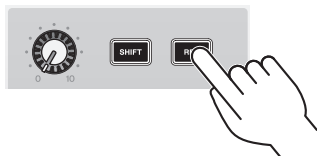
また、画面右側でFX（リバーブ）の設定を行います。

サウンドパッドに録音する

お知らせ

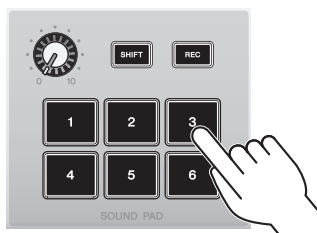
録音できる時間は5秒間です。

- 1 [REC] ボタンを押します。**
REC STANDBY状態になります。



REC STANDBY状態を抜けるには、[SHIFT] ボタンと[REC]ボタンを同時に押します。

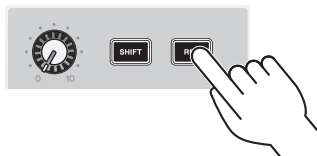
- 2 録音先のパッドを[SOUND PAD] [1]～[6]ボタンで選択します。**



お知らせ

パッドの選択時に長押しをすると、押している間、そのサウンドパッドの内容を確認できます。

- 3 録音を開始する場合は、再度[REC] ボタンを押します。**
録音が始まります。[SHIFT] ボタンと[REC] ボタンを同時に押すと、録音したデータが本体に保存され、REC STANDBY状態から抜けます。保存しない場合は、[SHIFT] ボタンと録音先の[SOUND PAD] ボタンを同時に押すと、録音したデータを消去してREC STANDBY状態に戻ります。



サウンドパッドを使う > サウンドパッドに録音する

お知らせ

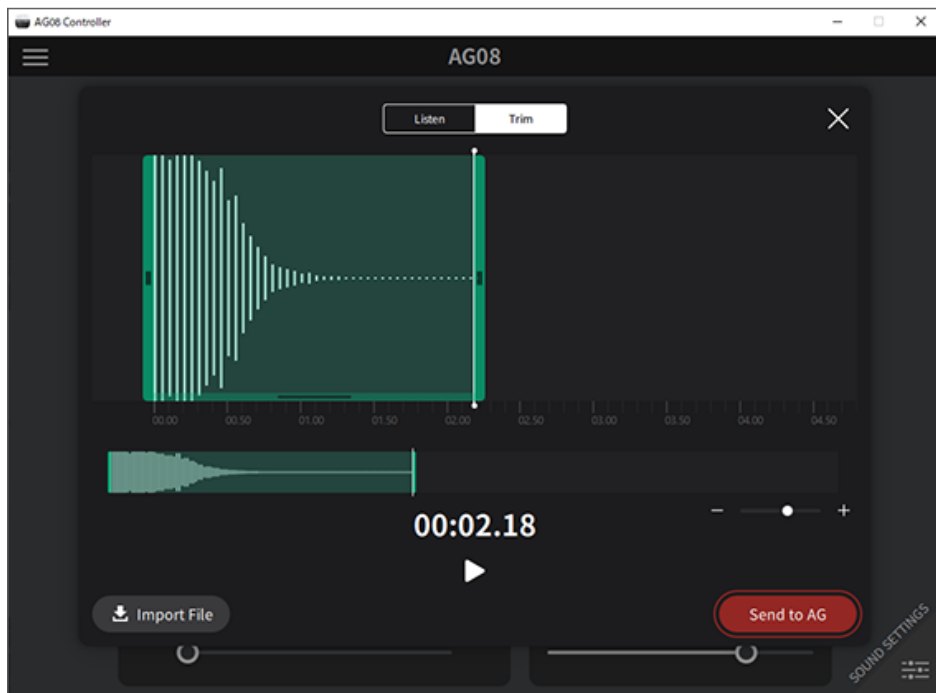
AG08 Controllerと接続している場合、AG08 Controllerとデータの同期が始まり、[SOUND PAD][1]～[6]のボタンが青色でぐるぐると点滅します。同期が完了するまで、操作はできません。また同期中はAG08本体の電源をオフにしたり、AG08 Controllerを終了したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。

サウンドパッドを使う > オーディオファイルをサウンドパッドに割り当てる

オーディオファイルをサウンドパッドに割り当てる

コンピューターやiPad内に保存されているwav、flac、mp3形式のオーディオファイルを読み込み、長さを調整してトップパネルのSOUND PAD [1]～[6]ボタンに割り当てることができます。

PAD SETTINGS画面の左上側で設定を行うパッドの選択を行い、「波形表示」のフィールドの[🔊]ボタンを押すと下記画面が表示されます。



[Import File]ボタンを押してオーディオファイルを選択し、AG08 Controllerにデータを取り込みます。画面のGUIを操作して長さを調節し、[Send to AG]ボタンを押してAG08本体にデータを送信します。コンピューターやiPad内に保存されたオーディオファイルだけでなく、AG08本体で録音したデータの長さの調節を行い、データの最初や最後の無音部分を削除したりすることもできます。

サウンドパッドを使う > オーディオファイルをサウンドパッドに割り当てる

お知らせ

- データの送信中はAG08本体の[SOUND PAD][1]～[6]各ボタンの操作はできません。また、データの送信中はAG08本体の電源をオフにしたり、AG08 Controllerを終了したり、USBケーブルを抜いたりしないでください。
- 30分を超える長さのオーディオファイルは取り込めません。
- AG08本体には最大5秒の16ビット48 kHzモノラルのリニアPCMのデータで保存されます。

アップデートする

本体ファームウェアをアップデートする

AG08本体ファームウェアのアップデートは、AG08 Controller for MacまたはAG08 Controller for Windowsのファームアップデート機能を使って行います。

お知らせ

iPad用のAG08 Controller for iPadOSでは、ファームウェアをアップデートすることはできません。

準備

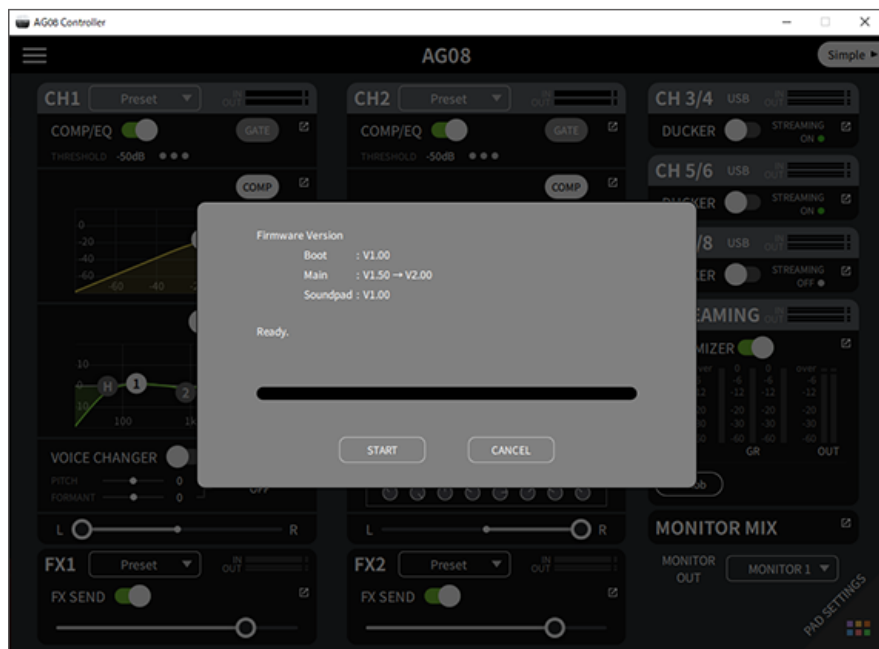
AG08本体と、Yamaha Steinberg USB DriverおよびAG08 ControllerがインストールされたコンピューターをUSBケーブルで接続しておきます。

手順

- 1** AG08本体の電源をオンにします。
- 2** AG08 Controllerを起動します。

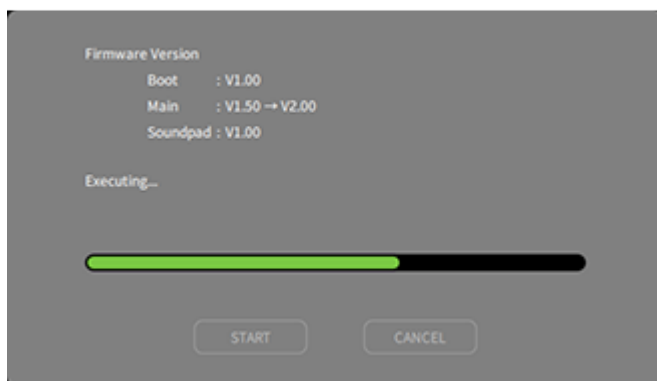
アップデートする > 本体ファームウェアをアップデートする

- AG08本体のファームウェアのバージョンが、AG08 Controllerに搭載されているものより古い場合、ファームアップデートの画面が自動的に表示されるので、バージョンを確認し、[START]ボタンを押します。



ファームウェアのアップデートが始まります。

アップデート中は、AG08本体のチャンネル1、チャンネル2の[+48V] LEDが交互に点滅し、他のLEDは消灯します。



アップデートする > 本体ファームウェアをアップデートする

4 アップデートの完了を示す画面が表示されたら、[OK] ボタンを押します。

以上でファームウェアアップデートは完了です。

手順3で[CANCEL]ボタンを押した場合でも、AG08 Controllerのメニュー[]ボタンを押してファームアップデートを選択すると、ファームアップデートの画面が表示されます。

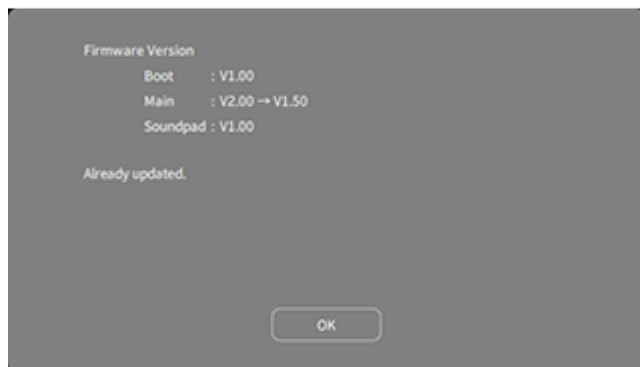


アップデートする > 本体ファームウェアをアップデートする

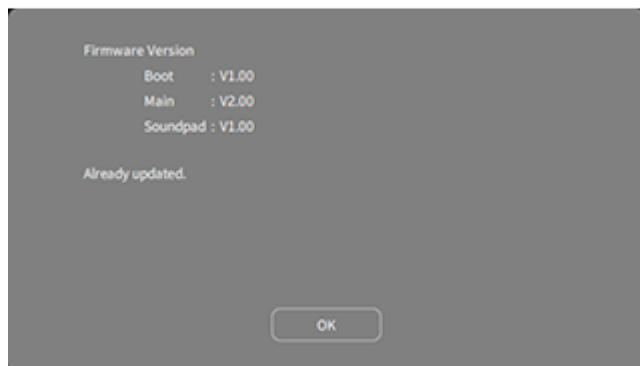
お知らせ

アップデートするファームウェアのバージョンより、AG08本体のファームウェアのバージョンが新しい場合、またはバージョンが同じ場合は次のように表示され、アップデートできません。

- AG08本体ファームウェアのバージョンの方が新しい場合



- AG08本体ファームウェアとバージョンが同じ場合



困ったときは

電源のトラブル

ヤマハウェブサイトによくあるお問い合わせ（Q&A）を掲載しています。

<https://faq.yamaha.com/jp/s/>

電源LEDが点灯しない

● 本製品に電源が供給されていますか？

電源が供給されていないと、点灯しません。

- ・ 付属の電源アダプターからの電力供給が必要です。背面の[12V]DC端子に、付属の電源アダプターを接続してください。

電源LEDが点滅したり、安定して点灯しない

● 電力供給に問題はありませんか？

- ・ 電力供給に問題がある場合は点滅します。背面の[12V]DC端子に、付属の電源アダプターを接続してください。

● 適切なUSBケーブルをお使いですか？

- ・ 付属のUSBケーブルをご使用ください。
- ・ (Lightning コネクタ対応のiPad/iPhone の場合) Apple 社製Lightning-USB3カメラアダプタおよび市販のUSB A to USB Cケーブルが別途必要です。

音声、その他のトラブル

ヤマハウェブサイトにも、よくあるお問い合わせ（Q&A）を掲載しています。

<https://faq.yamaha.com/jp/s/>

コンピューター（Windows/Mac）が本製品を認識しない

● ドライバーがインストールされていますか？

本製品をコンピューター（Windows/Mac）に接続するためには、Yamaha Steinberg USB Driverのインストールが必要です。

・Yamaha Steinberg USB Driverのインストール方法は次のウェブサイトをご参照ください。

<https://www.yamaha.com/2/ag08/>

音が出ない

● [STREAMING ON/OFF] スイッチの設定は適切ですか？

● マイクなどの外部機器やパワードモニタースピーカーを正しく接続しましたか？

● 接続ケーブルが、ショートまたは断線していませんか？

● 接続した電子楽器や外部機器、パワードモニタースピーカーの電源をオンにしましたか？

● [GAIN]ノブ、フェーダー、および[MONITOR]ノブ、[MONITOR PHONES] [Q]ノブを適切に調節しましたか？

● [LINE/USB]切り替えスイッチは正しく設定されていますか？

● [GAIN HIGH/LOW]切り替えスイッチは正しく設定されていますか？

・スイッチを[HIGH]に設定してください。音源からの音量が小さい場合、[LOW]にしていると、音が聞こえないことがあります。

● [MIX MINUS]スイッチがオンになっていませんか？

● インターネット配信ソフトウェアを使用する場合、ソフトウェア側での音量の調節はしましたか？

音が歪む、雑音が入る

● チャンネルの[SIG/PEAK]LEDが赤色に点灯していませんか？

・[GAIN]ノブを下げたり、[PAD]スイッチをオンにしたりしてください。

● [STREAMING OUT] LEDレベルメーターの[OVER]（赤色）が点灯していませんか？

・各チャンネルのフェーダーを調節してください。[MONITOR]ノブ、[MONITOR PHONES] [Q]ノブで音量を下げても[STREAMING OUT]LEDレベルメーターの[OVER]は消えません。

困ったときは > 音声、その他のトラブル

● **本体に接続した機器の音量が大きすぎませんか？**

・接続した機器の音量を下げてください。

● **[LINE/USB]切替スイッチは正しく設定されていますか？**

● **[GAIN HIGH/LOW]切り替えスイッチは正しく設定されていますか？**

・スイッチを[LOW]に設定してください。音源からの音量が大きい場合、[HIGH]にしていると、音が歪むことがあります。

ボーカルやスピーチの声をはっきりさせたい

● **[COMP EQ] ボタンをオン（橙色に点灯）にしてください。**

・このボタンの初期設定では、あらかじめインターネット配信に適したパラメーターがセットされており、低域の不要なノイズや入力レベルのバラツキを抑えます。

リバーブがかからない

● **チャンネル1のFXのエフェクトタイプをREVERBにしましたか？**

[VOICE CHANGER]ボタン、[AMP SIM]ボタン、チャンネル2のフェーダー、
[CH1 PRESET]ボタン、[PITCH]ノブ、[FORMANT]ノブの操作に反応がない

● **STEREO PAIR（71ページ）がオンになっています。必要に応じてSTEREO PAIRをオフにしてください。**

工場出荷時の設定に戻す（初期化）

工場出荷時の状態に戻したいときは以下の操作で初期化できます。AG08本体またはAG08 Controllerで設定しなおしたパラメーターやCH1 PRESETの情報、SOUND PADのオーディオデータなどすべての設定が初期化されます。

- 1** [⏻]（スタンバイ/オン）スイッチをいったんスタンバイにします。
- 2** チャンネル1の[COMP EQ] ボタンを押しながら [⏻]（スタンバイ/オン）スイッチをオンにします。

トップパネルのすべてのLEDが2回点滅し、初期化が始まります。LEDの点灯アニメーションが終了するまでお待ちください。初期化の完了には約50秒かかります。

資料

一般仕様

0 dBu = 0.775 Vrms シグナルジェネレーターの出力インピーダンス：150 Ω

特に指定のない場合、コントロールはノミナル位置。ノブのノミナルは、3時の位置。

周波数特性	入力チャンネル *4 →MONITOR OUT	+0.5 dB/-1.5 dB (20 Hz~20 kHz)、ノミナル出力基準@ 1 kHz, GAINツマミ: 最小
全高調波歪率 (THD+N)*1	入力チャンネル *4 →MONITOR OUT	0.03 % @ 0 dBu (20 Hz~20 kHz), GAINツマミ: 最小
		0.008 % @ +4 dBu (1 kHz), GAINツマミ: 最小
ハム & ノイズ *2 (20 Hz~20 kHz)	入力換算ノイズ	-128 dBu (モノラルインプットチャンネル、Rs: 150 Ω、GAINツマミ: 最大)
	出力残留ノイズ	-93 dBu (MONITOR OUT、MONITORツマミ: 最小)
クロストーク(1 kHz) *3 *4		-80 dB
入力チャンネル		モノラル(MIC/LINE): 2、ヘッドセットマイク (プラグインパワー) 入力兼用 (CH1のマイク入力とヘッドセットマイクは同時に使用できません) ステレオ(LINE): 3
出力チャンネル		MONITOR OUT: 1, MIX OUT: 1, PHONES: 2, AUX OUT:1
入力チャンネル機能	PAD (CH1, CH2)	26 dB
	DSP	CH1: COMP/EQ, VOICE CHANGER, REVERB, MUTE
		CH2: COMP/EQ, AMP SIM, REVERB, MUTE
		CH3/4, 5/6, 7/8: DUCKER, MUTE
PEAK LED	信号がクリッピングレベルより3 dB低いレベルに達すると赤点灯	
出力チャンネル機能	DSP	SOUND PAD
		MAXIMIZER, CUE, DELAY
レベルメーター	USB出力レベル	2 x 6ポイントLEDメーター
USBオーディオ	8 IN / 14 OUT	USB Audio Class 2.0 準拠、対応サンプリング周波数:48 kHz, 対応量子化ビット数: 24-bit
ファンタム電源		+48 V
フットスイッチ端子		INPUT MUTE, TAP TEMPO, VOICE EFFECT, OUTPUT DIMMER
電源電圧		DC 12 V, 1.5 A / USB Type-C 5 V, 1.5 A
消費電力		7.5 W
寸法 (幅×高さ×奥行き)		290 mm × 88 mm × 222 mm

資料 > 一般仕様

質量	2.2 kg
同梱品	電源アダプター PA-150B、USB2.0 ケーブル (1.5 m)、スタートガイド、セーフティーガイド、WAVELAB CAST DOWNLOAD INFORMATION、CUBASE AI DOWNLOAD INFORMATION
オプション（別売）品	フットスイッチ FC5
動作環境温度	0～+40℃

*1 全高調波歪率は22 kHz ローパスフィルターで測定。

*2 ノイズはA-weightingフィルターで測定。

*3 クロストークは1 kHz バンドパスフィルターで測定。

*4 ヘッドセットマイク（プラグインパワー）入力とAUX OUTの経路を除く。

入出力仕様

アナログ入力規格

0 dBu = 0.775 Vrms

入力端子	PAD 26 dB	ゲインノ ブ/SWポ ジション	入カイン ピーダン ス	適合イン ピーダン ス	入カレベル			端子形状
					感度 *1	ノミナルレ ベル	最大ノンク リップレベ ル	
MIC/LINE 1-2	OFF	10	3 k Ω	50-600 Ω Mics/ Lines	-76 dBu (0.123 mV)	-60 dBu (0.775 mV)	-50 dBu (2.451 mV)	コンボ端子 *2 (Balanced)
		0			-30 dBu (24.50 mV)	-14 dBu (154.6 mV)	-4 dBu (489.0 mV)	
	ON	10			-50 dBu (2.451 mV)	-34 dBu (15.46 mV)	-24 dBu (48.90 mV)	
		0			-4 dBu (489.0 mV)	+12 dBu (3.085 V)	+22 dBu (9.757 V)	
HEADSET MIC	-	HIGH	1.5 k Ω *4	-	-58 dBu (0.976 mV)	-42 dBu (6.156 mV)	-32 dBu (19.47 mV)	CH1ヘッドセ ットマイク用 3.5 mmフォ ーン端子 (Plug-in Power / Unbalanced)
		MID			-48 dBu (3.085 mV)	-32 dBu (19.47 mV)	-22 dBu (61.56 mV)	
		LOW			-38 dBu (9.757 mV)	-22 dBu (61.56 mV)	-12 dBu (194.7 mV)	
INPUT CH2 GUITAR *5	OFF	10	1 M Ω	-	-72 dBu (0.195 mV)	-56 dBu (1.228 mV)	-46 dBu (3.884 mV)	フオーン端子 *3 (Unbalanced)
		0			-26 dBu (38.84 mV)	-10 dBu (245.1 mV)	0 dBu (775.0 mV)	
	ON	10			-46 dBu (3.884 mV)	-30 dBu (24.51 mV)	-20 dBu (77.50 mV)	
		0			0 dBu (0.775 V)	-	+10 dBu (2.451 V)	
LINE 3/4	-	HIGH	10 k Ω	600 Ω Lines	-24 dBu (48.90 mV)	-8 dBu (308.5 mV)	+2 dBu (975.7 mV)	LINE 3/4 フォ ーン端子*3 (Unbalanced)
		LOW			-14 dBu (154.6 mV)	+2 dBu (975.7 mV)	+12 dBu (3.085 V)	

LINE 5/6, 7/8	-	-	10 k Ω	600 Ω Lines	-24 dBu (48.90 mV)	-8 dBu (308.5 mV)	+2 dBu (975.7 mV)	LINE 5/6 RCA ピン端子と 3.5 mm フォ ーン端子*6 (Unbalanced) LINE 7/8 3.5 mm フォーン 端子*7 (CTIA)
------------------	---	---	---------------	-----------------------	-----------------------	----------------------	----------------------	--

*1 入力感度：最大レベル設定(レベルコントロールがすべて最大)時で+4dBu (1.23 V)、またはノミナルレベルを出力するときの最小入力レベル

*2 1&Sleeve = GND, 2&Tip = HOT, 3&Ring = COLD

*3 Tip = Signal、 Sleeve = GND

*4 CH1のヘッドセットマイク端子

*5 CH2のギタースイッチ：ON

*6 Tip = Signal L, Ring = Signal R, Sleeve = GND

*7 Tip = Signal L, Ring1 = Signal R, Ring2 = GND, Sleeve = Output for Smartphone

アナログ出力規格

0 dBu = 0.775 Vrms

出力端子	出力インピーダンス	適合インピーダンス	出力レベル		端子形状
			ノミナルレベル	最大ノンクリップレベル	
MONITOR OUT [L、R]	150 Ω	10 k Ω Lines	+4 dBu (1.228 V)	+14 dBu (3.884 V)	XLR-3-32 *8 フォーン端子 *9 (Balanced)
MIX OUT [L、R]	150 Ω	10 k Ω Lines	+4 dBu (1.228 V)	+14 dBu (3.884 V)	フォーン端子 *9 (Balanced)
PHONES	120 Ω	40 Ω Phones	1.5 mW + 1.5 mW	6 mW + 6 mW	フォーン端子 3.5 mmフォーン端子
AUX OUT	150 Ω	1.5 k Ω Line	-30 dBu (24.51 mV)	-20 dBu (77.50 mV)	3.5 mmフォーン端子 *10 (CTIA)

*8 1 = Ground, 2 = Hot, 3 = Cold

*9 Tip = HOT, Ring = COLD, Sleeve = GND

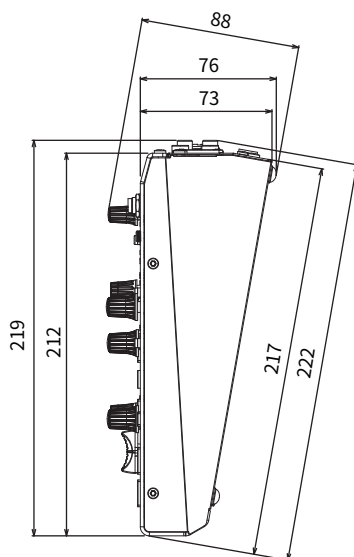
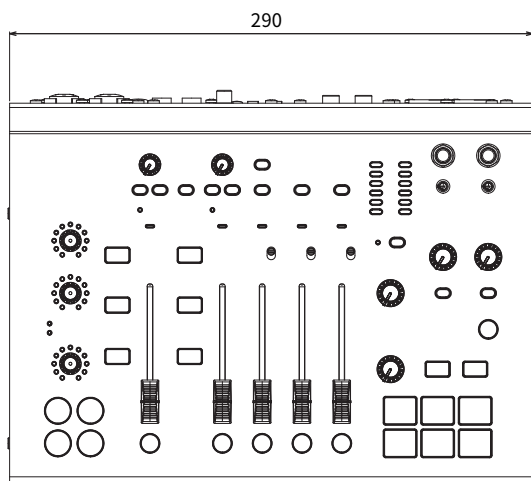
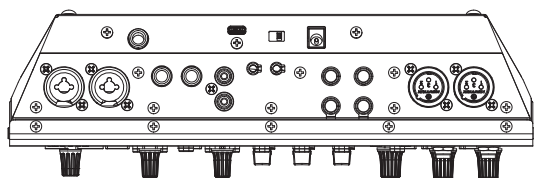
*10 Tip = Signal L, Ring1 = Signal R, Ring2 = GND, Sleeve = Output for Smartphone

デジタル入出力規格

端子	フォーマット	データ長	サンプリング周波数	端子形状
USB	USB Audio Class 2.0 / Yamaha Steinberg USB Driver	24-bit	48 kHz	USB Type-C

本ガイドは、発行時点での最新仕様で説明しています。

寸法図



単位：mm

ブロックダイアグラム

AG08のブロックダイアグラムは下記のヤマハウェブサイトをご覧ください。

<https://www.yamaha.com/2/ag08/>

レベルダイアグラム

AG08のレベルダイアグラムは下記のヤマハウェブサイトをご覧ください。

<https://www.yamaha.com/2/ag08/>

ヤマハプロオーディオウェブサイト
<https://www.yamahaproaudio.com/>

ヤマハダウンロード
<https://download.yamaha.com/>

© 2023 Yamaha Corporation

2025年1月 発行 AM-C0